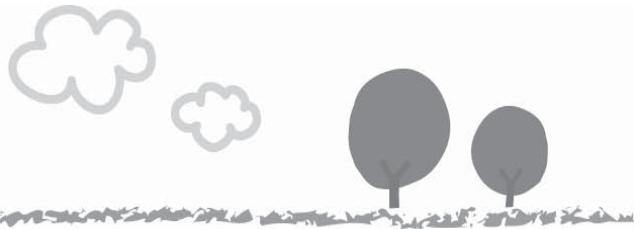


COMPASS2020 の使い方



◇「尚絅」の羅針盤——入学してすぐ読もう

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。いよいよ尚絅大学・尚絅大学短期大学部の学生としての生活がスタートします。この冊子は、みなさんが「尚絅」の学生としての2年間または4年間を送るにあたってのCOMPASS=羅針盤となる情報をまとめたものです。

授業の履修や単位制度など学びのための基本的な仕組みをはじめ、学生生活のさまざまな場面で必要となる手続きや充実したキャンパスライフを送るための情報が詰め込まれています。新入生のみなさんは、「学生便覧」と一緒にこの冊子をよく読んでおいてください。

また、この冊子は、すべての学部・学科で1年次前期に開講される「基礎セミナー」のテキストとしても使用します。「尚絅」の学生として、尚絅大学・尚絅大学短期大学部の理念や歴史についても一緒に学びましょう。

◇学びの羅針盤——まずは履修登録のときに読もう

大学・短期大学部では、学びたい科目を自分で履修登録しなければ授業を受けることができません。履修登録の段階でミスをしてしまうと、必要な科目的単位が修得できず、学修が遅れたり、場合によっては卒業できなくなることもあります。オリエンテーションをしっかりと受けて、履修登録の際には「学生便覧」とこの冊子をよく読んで、ミスをしないようにしましょう。

◇キャンパスライフの羅針盤——充実したキャンパスライフを送るために

授業だけでなく、サークル活動や学園祭など学生ならではの活動も楽しみにしている人も多いでしょう。ぜひやりたいことにチャレンジしてみてほしいのですが、学生生活を送るにあたって、さまざまな事務手続きが必要になることもあります。「学生便覧」とあわせて、この冊子で必要な手続きを確認してください。

◇卒業するまでの羅針盤——みんなの2年間・4年間をサポートします

学修のこと、学生生活のこと、進路のことなどわからないことや確認したいがあれば、この冊子を開いてみてください。悩んだり、迷ったりしたときにも、一人で抱え込まずに困ったことがあれば、担当の窓口を参照して相談に訪れてみてください。

みんなの卒業までの学生生活をサポートするこの「COMPASS2020」とともに、充実した「尚絅 CAMPUS LIFE」を送ってほしいと思います。

COMPASS 2020 目次

I. 尚絅学園および尚絅大学・尚絅大学短期大学部について

はじめに P 1

1. 尚絅学園の「建学の精神」と「教育理念」 P 1

2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部の理念および使命と目的 P 2

3. 尚絅の歴史と沿革 P 2

(1) 尚絅の起源 P 2

(2) 「尚絅」の由来 P 5

(3) 尚絅の沿革 P 5

4. 尚絅の現在 P 6

(1) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部の現在 P 6

(2) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部と地域社会 P 6

むすびに P 7

II. 学びの羅針盤

1. 学修の基本 P 8

(1) 授業・単位・履修とはなにか P 8

(2) シラバス（講義概要）の活用と履修登録 P 10

(3) 受講上のマナー、試験、休講、欠席届など P 15

(4) 研究倫理について P 20

2. 図書館 P 22

3. 学修支援センター P 23

4. 国際交流・留学案内 P 24

5. 就職・進路支援センター P 27

III. キャンパスライフの羅針盤

1. キャンパスライフの基本事項 P 29

(1) 事務窓口業務の案内 P 29

(2) 揭示板とオリエンテーション・ガイダンスについて P 30

(3) ロッカーの利用・自転車通学のルール等について P 30

(4) 学生証・通学定期・学割証について	· · · · · P31
(5) 学費の納入について	· · · · · P32
(6) 奨学金について	· · · · · P32
(7) 学内ワークスタディについて	· · · · · P33
(8) 休学・復学・退学等について	· · · · · P33
(9) 住所・氏名・保証人の変更について	· · · · · P34
(10) 学研災・学研賠について	· · · · · P34
(11) 各種証明書の申請について	· · · · · P35
(12) 学生寮について	· · · · · P35
2. キャンパスライフをより充実させるために	· · · · · P36
(1) 学生会・尚絅祭について	· · · · · P36
(2) クラブ・同好会について	· · · · · P36
(3) アルバイトについて	· · · · · P36
(4) 担任制について	· · · · · P36
(5) 保健室の利用について	· · · · · P37
(6) カウンセリング等の利用について	· · · · · P37
(7) スマートフォン・SNSを正しく利用しよう	· · · · · P38
(8) 困った時の SOS (セクハラ、アカハラなど)	· · · · · P39
3. 災害に備えて	· · · · · P40
(1) キャンパスで火災に遭遇したら	· · · · · P40
(2) キャンパスで地震に遭遇したら	· · · · · P40

IV. その他

※メールの設定について	· · · · · P43
※カリキュラムマップ	· · · · · P49
※キャンパスマップ	· · · · · P54
※非常災時における授業の取り扱いに関する申し合わせ	· · · · · P56



I. 尚絅学園および尚絅大学・尚絅大学短期大学部について

はじめに

本章では、尚絅大学・尚絅大学短期大学部に入学したすべての学生のみなさんが履修する「基礎セミナー」において、尚絅学園の建学の精神、教育理念および大学の理念、目的・使命、学園と大学の歴史と現在の大学・短期大学部について学びます。

これらのことは、単に知識として身につけるだけでなく、本学のすべての学びと学園生活の基本となるべきものですから、内容をよく理解し、また尊重していただきたいと思います。

1. 尚絅学園の「建学の精神」と「教育理念」

尚絅学園は、学園の歴史をふまえ現在の使命に基づいて、建学の精神を次のように整理・要約し、また教育理念を掲げています。

●建学の精神

「智と徳を兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成」

本学園は、明治 21（1888）年に創設された済々黌附属女学校をその源としており、同校創設に際して創立者の佐々友房らが遺した「済々黌附属女學校創立ノ主旨」の中には、女子教育の必要性、女子教育の理念などについて縷々述べてあり、その中から建学の精神を表す箇所について要約しています。

●教育理念

「尚絅 表面を飾らず内面の充実に努める」

本学園は、校名である「尚絅」の二字に凝縮された言葉をもって教育の理想の姿とし、本学園の教育理念としています。

「尚絅」とは、中国の古典『中庸』の一節「衣錦尚絅」（錦を衣て絅を尚ぶ）、すなわち、錦を着た場合はその上から薄物をかけ、きらびやかな模様を表に出さないようにするという君子の道のあり方を説いた句に由来しています。この句には、表面を飾らず内面の充実に努めるという、人としての心構え、あり方が含意されています。



2. 尚絅大学・尚絅大学短期大学部の理念および使命と目的

尚絅大学と尚絅大学短期大学部は、建学の精神と教育理念を受けて、次のような共通の理念を掲げるとともに、それぞれの使命・目的に基づいて運営されています。

● 尚絅大学・尚絅大学短期大学部の理念

智と徳を兼ね備え自律的に学修を続ける女性を育成し、基礎的・応用的研究を推進して成果を発信し、地域社会に貢献する。

● 尚絅大学の使命・目的

尚絅大学は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く学術を研究教授し、広く社会と文化の発展に寄与するとともに、建学の精神に則り^{のつと}、先進的知識と高度な技能とを修得して、智と徳とを兼備し、生涯にわたって研鑽^{けんさん}を重ね、人間性を尊重し社会に貢献する女性を育成することを目的とする（学則第1条）

● 尚絅大学短期大学部の使命・目的

尚絅大学短期大学部は、教育基本法及び学校教育法に基づき、深く学術を研究教授し、広く社会と文化の発展に寄与するとともに、建学の精神に則り^{のつと}、先進的知識と実践的技能とを修得して、智と徳とを兼備し、生涯にわたって研鑽^{けんさん}を重ね、人間性を尊重し社会に貢献する女性を育成することを目的とする（学則第1条）

3. 尚絅の歴史と沿革

(1) 尚絅の起源

本学の起源は、明治21(1888)年に設立された「濟々齋附属女学校」にさかのぼります。濟々齋の創立者佐々友房^{さつさともふさ}*の妻・静夫人は、自宅で編み物や洋裁を教えており、その生徒は次第に増えていきました。佐々友房は、当時の女子教育の気運が高まったこともあいまって、同志の人々と相談して新しい女子教育を実現することとしたのです。

こうして、熊本市昇町三番地に校地・校舎を購入して、明治21年2月11日に始業、5月1日に開校式を行いました。生徒数は23名。開校式にあたり、初代校長の内藤儀十郎^{じゅうろう}*が「濟々齋附属女学校創立ノ主旨」(※参考資料を参照のこと)を読み上げました。

この「主旨」では、封建時代の女子教育から脱し、また知識のみに偏り見せかけのきらびやかさに流されることがないよう、「智と徳とが兼ね備わって一緒に進み、しとやかで素直な人としての徳」を身に付けた人材の育成が高らかにうたわれています。また、体操、英語、洋服裁縫など新しい時代にふさわしい新しい教育課程に意欲的に取り組むことも宣言されています。



*佐々友房（1854～1906年）

熊本藩士の家に生まれ、藩校・時習館で学び、国学者林桜園の弟子となる。明治10（1877）年西南戦争にあたり西郷軍に加わる。明治12年帰郷、同心学舎のちの濟々齋を創立する。「紫渢雑誌」、のちの「九州日日新聞」（熊本日日新聞の前身）を発行。衆議院議員となる。『克堂佐々先生遺稿』（改造社、1936年）があり、「戦袍日記」、「濟々齋歴史」などが収録されている。（参考文献：佐々淳行・瑞雄『佐々家覚え書』、1989年）

*内藤儀十郎（1847～1918）

濟々齋附属女学校の初代校長。熊本藩士の家に生まれ、藩校・時習館で学ぶ。明治10（1877）年西南戦争にあたり西郷軍に加わる。濟々齋の幹事となり兼ねて漢籍を教授、また予備教育を行う濟々齋外塾を経営した。（参考文献：江口愛子「内藤儀十郎先生伝」『尚絅』第28号、1926年）

※参考資料

*「濟々齋附属女学校創立ノ主旨」について

濟々齋附属女学校創立ノ主旨

女子モ亦国家ヲ組織スルニ重要ナル一分子タルヲ知ラバ、女子教育ノ必要ヲ悟ルニ足ラン。
彼ノ妙齡ナル女子ガ遂ニ良妻タリ賢母タルヲ知ラバ、以テ女子教育ノ必要ナルヲ悟ルニ足ラン。
其良妻トシテ家政ヲ經紀シ、男子ヲ輔翼シ、其賢母トシテ子女ヲ教育シ、且ツ博愛慈善ノ泉源
タルヲ知ラバ、亦以テ女子教育ノ必要ナルヲ悟ルニ足ラン。今ヤ我輩此ニ見ル所アリ。爰ニ本
校ヲ創立シ大ニ女子教育ノ事ヲ拡張セント欲ス。

方今、教育大ニ進歩シ女子教育モ亦盛ナラズトセズ。然ルニ我輩女子教育ノ弊ヲ見ルニ、或
ハ封建ノ余習ヲ墨守シテ徒ラニ旧轍ニ拘泥シ、女大学・烏丸等ヲ以テ其主義トシ、明治昭代ノ
女子ヲシテ文明ノ婦人タラシムル能ハザルモノアリ。或ハ智識ヲ偏尚シテ徳義ヲ輕忽シ、虚飾
ニ流レテ実行ヲ失シ、其弊タルヤ、女子ノ淑徳ヲ損ジ、我邦ノ美風ヲ失スルモノアリ。此二者
共ニ偏スル所アルヲ免レズ。是レ豈ニ中正ノ道ナランヤ。若シ夫レ文質彬々、智徳並進シ婉淑
從順ノ徳ニ加フルニ、凜然タル貞操節義ヲ以テスルモノハ、是レ誠ニ我輩ガ望ム所ナリ。

世運進歩スレバ、女子教育ノ課程モ亦之ニ伴ハザル可ラズ。是ニ於テ我輩ハ本校課程ニ体操科・
英語科及ビ洋服裁縫等ヲ編入シタリ。現時教員ノ数既二十名余ノ多キニ達シ、生徒ノ数ハ之レ
ト比例シテ僅々タルモ、入校希望者日ニ増加スルノ勢ナレハ、日ナラズシテ必ズ盛況ヲ見ルニ
至ラン。特ニ教授ヲ担任スルモノハ、平生教育ニ熱心シ、一身抛チテ本校ニ従事スルモノナレ
バ同感ノ賛成スルヲ得、入校ノ生徒ヲ募リ、猶ホ他日ヲ期シテ課程ヲ増補シ、教授法ヲ改良シ、
益々隆盛ノ域ニ臻ランコトヲ希望スト云フ。

*「濟々齋附属女学校創立ノ主旨」は、尚絅学園において、『熊本県私立尚絅高等女学校一覧』（明治36年頃の刊行）に掲載されているものを基礎に『濟々齋歴史』などを参照して本文を整え、句読点、濁点、振り仮名などを加え「掲載版」として定めたものです。以下の現代語訳と集約（要約）も学園で作成しています。



【現代語訳】

女子もまた国家を組織する上で重要な構成員であることを知るなら、女子教育の必要を悟るのに十分であろう。あの若い女子が遂には良妻となり賢母となることを知るなら、それによって女子教育の必要性を悟るのに十分であろう。その良妻として家庭を運営し、男子を補佐し、その賢母として子どもたちを教育し、同時にまた博愛と慈善の湧き出る源であることを知るなら、これまた女子教育の必要性を悟るのに十分であろう。今まさに我々はここにおいて考えるのである。このことによって本校を創立し、女子教育の事業を拡張しようと思う。

現在教育は大いに進歩し、女子教育も盛んでないわけではない。しかし、我々が女子教育の欠点と見なすところとしては、あるいは封建時代の慣わしをかたくなに守り、意味もなく古いやり方にこだわり、「女大学」や「からすまる」などを教育の主義とし、明治のすばらしい時代の女子を文明の成人女性として育成することができないところがある。あるいは知識だけを重んじて徳義を軽んじ、見せかけや華々しさに流され、肝心な行動力を失っており、その弊害としては、女子のしとやかな美德を損ない、我が国の良い風習を失うものがある。この二つは、どちらも偏りがあることを避けられない。これがどうして中正の道と言えようか。もし、そもそも形式と内容が程よく調和し、智と徳とが兼ね備わって一緒に進み、しとやかで素直な人としての徳に加え、けじめのついた貞操と節操・道義心を身に付けることが、まことに我々が望むところである。

世の中が進歩すれば、女子教育の課程もまたこれに伴わなければならない。そこで、我々は本校の教育課程に体操科、英語科、洋服裁縫などの科目を組み込んだ次第である。現在教員の数は既に十余名の多さに達し、生徒の数はこれに比べてわずかであるが、入校希望者は日に日に増加する勢いであるから、時が経たないうちに必ず盛んになるであろう。特に授業を担当する者は、普段より教育に熱意を持ち、我が身を投げ出して本校のために従事する者であるから、同じ考えで賛同する人を得て、入校する生徒を募集し、さらに将来に向けて教育課程を追加補強し、教授法を改良し、益々隆盛の状態に至ることを希望するものである。



* 熊本縣私立尚絅高等女学校・旧校舎



* 裁縫教授書

(尚絅高等女学校で使用していたもの)



(2) 「尚絅」の由来

明治24年10月、本校の濟々黌が他の学校と合同して「九州学院」（現在の「九州学院」とは異なる）を設置するにあたり、濟々黌附属女学校は独立して「尚絅女学校」と校名を変更しました。「尚絅」とは、中国の古典『中庸』の一節に由来します*。

原 文	詩曰、衣錦尚絅。惡其文之著也。故君子之道、闇然而日章、小人之道、的然而日亡。
読み下し文	詩に曰はく、錦を衣て絅を尚ふと。其の文の著るるを惡むなり。故に君子の道は闇然として日に章らかに、小人の道は的然として日に亡ぶ。
現代語訳	詩經に言う、錦を着てその上に薄い衣をはおっている、と。それは、錦の模様が外に現れるのを嫌うからである。ゆえに、君子の守り行う道はちょっと見た目には暗くてわからないが、日がたつにつれて明らかになってくる。これに對して、小人の行う道は、一見明るく輝くが、日がたつにつれて消え失せてしまう。

*以下の文献を参考に読み下し平易に現代語訳した。

宇野哲人『中庸全訳注』(講談社学術文庫 1983年) 赤塚忠『大学 中庸』(新釈漢文大系 明治書院 1967年)
山下龍二『大学 中庸』(全釈漢文大系 集英社 1974年)

(3) 尚絅の沿革

1888(明治21)年 5月	濟々黌附属女学校創立
1891(明治24)年10月	濟々黌から独立して尚絅女学校と改称
1893(明治26)年	裁縫教科課程を編成して裁縫一斉教授法を導入
1896(明治29)年 4月	私立尚絅高等女学校と改称
1920(大正 9)年11月	飽託郡大江村九品寺(現在地)に移転
1947(昭和22)年 4月	学制改革によって尚絅中学校発足
1948(昭和23)年 4月	新制の尚絅高等学校となる
1952(昭和27)年 4月	熊本女子短期大学開学、家政科を設置
1967(昭和42)年 4月	熊本女子短期大学家政科を家政科家政専攻と家政科食物栄養専攻に分離する(現在の総合生活学科、食物栄養学科の前身)
1968(昭和43)年 4月	熊本女子短期大学幼稚教育科を現・武蔵ヶ丘キャンパスに設置(現在の幼稚教育学科の前身)
1972(昭和47)年11月	尚絅学園歌制定
1975(昭和50)年 4月	尚絅大学開学、文学部(国文学科・英文学科)を現・武蔵ヶ丘キャンパスに設置(現在の文化言語学部・現代文化学部の前身)
1988(昭和63)年 5月	熊本女子短期大学を尚絅短期大学と改称
1996(平成 8)年 4月	学園創立100周年記念式典挙行、『尚絅学園100年史』発行
2006(平成18)年 4月	尚絅短期大学専攻科・食物栄養専攻設置
	尚絅大学生活科学部栄養科学科設置。
	文学部国文学科及び英文学科を文化言語学部文化言語学科に改組
	尚絅短期大学を尚絅大学短期大学部、家政科を総合生活学科と食物栄養学科に改組、幼稚教育科を幼稚教育学科と改称
2018(平成30)年 4月	文化言語学部文化言語学科を現代文化学部文化コミュニケーション学科に改組
2018(平成30)年 5月	学園創立130周年記念事業を催行



4. 尚絅の現在

(1) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部の現在

●尚絅大学

☆現代文化学部—文化コミュニケーション学科

さらなる高度情報化とグローバル化が進む社会において必要とされる人材を育成するために、2018年4月に新設されました。「文化」に関する4つの領域の中から異なる2つの領域を組み合わせて学び、併せてジェネリックスキルも身につけられます。

☆生活科学部—栄養科学科

管理栄養士養成施設として、管理栄養士国家試験受験資格、栄養士免許、栄養教諭免許状（一種）、食品衛生監視員・食品衛生管理者（任用資格）等を取得することができます。また先進的な専門知識と実践技能を身につけ、食品・栄養分野のスペシャリストとして広く社会で活躍できる人材を育成しています。

●尚絅大学短期大学部

☆総合生活学科

ビジネス情報やPC、医療事務、健康や福祉、インテリアやファッショント、ブライダルなど生活全般に関する知識と技術を身につけることができます。幅広い分野の資格を取得することで、ニーズに合った対応力や自己表現力を養うことができます。

☆食物栄養学科

食物栄養学科は50年以上の長きに亘って実践力溢れる栄養士を輩出してきました。現在は、食品衛生監視員・食品衛生管理者、フードサイエンティストや栄養製菓マスター（本学認定）等の取得も可能となり、「栄養」「食品」「調理」「製菓」を修めた「食品のスペシャリスト」としてのスキルアップを全力で支援しています。

☆幼児教育学科

幼稚園教諭二種免許状と保育士資格を取得することができます。確かな知識と実践力を有する保育者養成を行っており、多くの卒業生が保育者として活躍しています。保育現場から「保育なら尚絅」という高い評価をいただいています。

(2) 尚絅大学・尚絅大学短期大学部と地域社会

●地域社会との連携

尚絅大学・尚絅大学短期大学部では、「尚絅地域連携推進センター」、「尚絅ボランティア支援センター」、「尚絅食育研究センター」、「尚絅子育て研究センター」を中心に、地域社会・熊本と、さまざまなかたちで連携して活動しています。

たとえば、地方自治体のイベントボランティアやセミナーへの参加、地元企業との食品・商品の共同開発、福祉施設等でのボランティア、保育に関する研究会開催など、教員・職員だけでなく、学生のみなさんたちも一緒に活動しています。

●地域社会への貢献

県内の大学・高専で組織されている大学コンソーシアム熊本の企画やイベント、インターンシップなどに参加しています。また、尚絅大学・尚絅大学短期大学部の卒業生は、地域社会・熊本で有用な人材として、さまざまな分野で活躍しています。



むすびに

ここまで学んだことをまとめてみましょう。

●建学の精神

とを兼ね備え社会に貢献し得る女性の育成

●教育理念

中国の古典の一節に由来する。

尚絅とはを飾らずの充実に努めるという意味が含まれている。

●尚絅大学・尚絅大学短期大学部の使命と目的を読んで、4年間または2年間の目標や抱負を記載しておこう。

【参考文献】*以下の文献資料はいずれも本学図書館で閲覧できます。

- 『熊本県私立尚絅高等女学校一覧』(明治36年頃刊)
- 『熊本県尚絅高等女学校沿革史』(昭和13年刊)
- 『尚絅七十年史』(昭和35年刊)
- 『尚絅学園百年史』(平成元年刊)
- 『学園創設一二五周年記念誌 尚絅』(平成26年刊)
- 『濟々齋百年史』(昭和57年刊)
- 尚絅大学・尚絅大学短期大学部公式ウェブサイト <https://www.shokei-gakuen.ac.jp/univ/>



Ⅱ. 学びの羅針盤

大学・短大を卒業するためには、所属する学部・学科が定める履修規程にしたがって所定の単位を修得しなければなりません。たとえ1単位でも不足すると卒業できませんので、履修のルールをしっかり確認し、手続きをしてください。

各学部・学科の履修については、学生便覧の履修規程及び履修方法で確認してください。

1. 学修の基本

(1) 授業・単位・履修とはなにか

① 単位制について

大学・短大では単位制をとっています。授業を履修し、試験などの考査に合格することで単位を修得することができます。

また、進級要件や学外実習科目の履修要件として修得単位状況を要件に加える場合があります。

② 学期制について

本学では、1学年を前期と後期に分ける2期制を採用しています。前期及び後期は、それぞれ15回の授業期間と定期試験期間（追試験、再試験期間を含む）及び補講日を基本として計画されています。

毎年、授業日案が配布されますので、年間のスケジュールを確認してください。

③ 授業について

本学の授業は、1回あたり90分で実施することを基本とし、授業科目によっては45分又は135分の授業を実施する科目があります。

授業の実施方法として通常授業と集中講義があります。

- ・通常授業…原則、毎週1回行われる授業（半期：15回）
- ・集中講義…一定期間に集中的に連続して行われる授業（夏季休業中等に実施）

授業時間

1限目	8:50~10:20
2限目	10:30~12:00
3限目	13:00~14:30
4限目	14:40~16:10
5限目	16:20~17:50

*1コマ90分の場合です。

※授業の時間割、教室、担当教員については、

「授業時間割」を確認してください。

なお、講義変更・教室変更については、掲示板への掲示にて周知します。



④科目の分類について

大学の授業は、必修科目、選択必修科目、選択科目に分類されます。これらの分類は、各学部学科が定める卒業要件と関係していますので、必ず学生便覧で確認してください。

◇必修科目

教育目的を達成するために必ず単位を修得しなければならない科目です。

◇選択必修科目

指定された科目群の中から科目を選択し、決められた科目数及び単位数を修得しなければならない科目です。

◇選択科目

自由に選択し単位を修得することができる科目です。

⑤授業形態について

大学で行われる授業は、下記のとおり分類されます。

◇講義…教員が学生に対して、学問研究の内容を説明することにより知識を授ける授業形態です。

◇演習…教員の講義と共に、学生も討議・研究発表等を行いつつ指導を受ける授業形態です。

◇実験…理論や推論が正しいか一定の条件で試してみる授業形態です。

◇実習…学んだ知識をもとに実際の場で学習する授業形態です。

◇実技…学んだ知識をもとに実地の技術や演技を行う授業形態です。

⑥単位について

単位とは、科目を修得するために必要な学修量を示すものです。本学では、1単位の授業科目は45時間の学修を必要とすることを原則としています。学修時間には、授業時間だけではなく、予習・復習等教室外の事前・事後学修も含まれます。

《単位の計算方法》

①講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とします。

なお、15時間の授業の場合は30時間の事前・事後学修、30時間の授業の場合は15時間の事前・事後学修が必要です。

②実験、実習及び実技等については30時間から45時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって1単位とします。なお、30時間の授業の場合は15時間の事前・事後学修が必要です。

③卒業論文、卒業研究、卒業制作等については、学修の成果を評価するものとし、所定の単位を与えます。

※各科目で十分な学修成果をあげ単位を修得するためには、単位数と学修時間の関係を理解することが大切です。教室で講義を聞くだけではなく、自主的な予習・復習を心がけてください。



⑦履修の計画

学生便覧・シラバス（講義概要）・授業時間割から、履修しなければならない科目（必修科目・資格必修科目など）を漏れが無いよう注意してピックアップしてください。

履修登録が完了するまでの期間は、希望する科目に自由に出席ができます。

※第1回目から必ず出席しなければいけない科目もありますので、シラバスで確認してください。

※履修登録期間中の出欠もカウントされます。（欠席回数に注意してください。）

(2) シラバス（講義概要）の活用と履修登録

シラバス（講義概要）には、科目・担当教員ごとに「授業概要」、「到達目標」、「授業計画」、「事前事後学修及び期間中の学修」、「課題と評価の方法」など様々な情報が掲載されています。よく読んで、履修登録の参考にしましょう。

シラバスは、UNIVERSAL PASSPORT で履修登録する際に科目名をクリックすると該当科目のシラバスを閲覧することができます。

①履修登録とは

履修する授業科目を履修登録期間内（前期科目 4月上旬・後期科目 10月上旬）に UNIVERSAL PASSPORT を利用して、半期分の履修科目を登録する必要があります。

UNIVERSAL PASSPORT は、学内及び自宅のパソコンやスマートフォンからのログインが可能です。ID とパスワードは 1 年前までの情報処理の授業で配付します。

※万一、ID 又はパスワードを紛失した場合は、情報処理教室の情報助手に連絡してください。

②UNIVERSAL PASSPORT の利用方法

UNIVERSAL PASSPORT へのアクセスは、次の URL から行ってください。

<https://gakumu.shokei-gakuen.ac.jp/>

※http の後に s が入ります。

◇ ログイン画面



The screenshot shows the login screen of the UNIVERSAL PASSPORT EX application. At the top left is the title 'ログイン'. Below it are two input fields: 'User ID' and 'PassWord'. Underneath these fields is a 'ログイン' (Login) button. To the right of the 'ログイン' button is a small icon followed by the text 'ゲストユーザー' (Guest User).

※パスワードは 5 回間違えると自動的にロックがかかり、ログインできなくなります。

ロックがかかった場合は、教務課まで連絡してください！



◇ UNIVERSAL PASSPORT の画面説明

UNIVERSAL PASSPORT は、次のメニューから様々な操作が行えます。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
SHOKEI UNIVERSITY · SHOKEI UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

さん：前田カツイ 2018/03/03 17:45

ホーム | メール設定 | サイトマップ | ログアウト
アンケート/Q&A

個人情報 資格希望 稲修登録 時割 営業 成績閲覧 ポータル

2018年3月 本日 スケジュール

お知らせ

3月3日(土)
該当する授業はありません

3月4日(日)
該当する授業はありません

授業情報

全3件

授業情報

全0件

個人情報

学籍情報照会

みなさんの学籍情報が表示されます。学籍情報に誤りがないか確認してください。

学籍情報変更申請

住所や電話番号、メールアドレスが変更になった場合は、学籍情報変更申請より変更修正を行ってください。

資格希望

このメニューを利用して希望資格調査は行っておりません。

履修登録

このメニューは履修登録期間中のみ表示されます。

時間割

学生時間割表

履修登録した時間割表が表示されます。

教員時間割表

教員の授業時間割表が表示されます。

授業時間割表

受講可能な授業の時間割表が表示されます。



授業

シラバス照会

全学の授業シラバス（講義内容）を閲覧できます。

成績関連

成績照会

修得した科目・単位数・成績及び履修中の科目・単位数が表示されます。

また、通算GPAが表示されます。

アンケート/Q&A

アンケート回答

アンケートを実施した際に回答を行うメニューです。

アンケートを実施する場合は、掲示等でお知らせいたします。

～メモ～

◇ 履修登録の方法

- ①メニューの履修登録のボタンをクリックすると下記の画面が開きます。
履修登録を行うにあたって、学籍情報に変更がないか確認してください。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部
SHOKAI UNIVERSITY・SHOKAI UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

個人情報 資格希望 履修登録 時間割 授業 成績閲覧 アンケート/Q&A

履修登録 この画面は履修期間中に表示されます。住所・電話番号・メールアドレス等変更がある場合には、この画面で修正してください。

1説明画面 > 2学籍情報変更申請 > 3.履修登録

次へ

(次へ) のボタンをクリックしてください。
学籍情報変更申請の画面に移動します。

- ②学籍情報変更画面で登録・修正が必要な項目を確認してください。

学籍情報変更申請

住所変更届
変更箇所のみ記入してください。また変更理由は必ず入力してください。申請内容承認には約1週間程度かかります。

項目名	現在の登録内容	申請内容
郵便番号		
住所(都道府県市区町村大字)		
住所(丁目・字以下)		
住所(マンションビル名 号室)	a) 「現在の登録内容」欄 下記を参照	b) 「申請内容」欄 下記を参照
住所力ナ(都道府県市区町村大字)		
住所力ナ(丁目・字以下)		
住所力ナ(マンションビル名 号室)		
電話番号		
FAX番号		
変更理由	c) 「変更理由」欄…下記を参照	確定

連絡先変更届

項目名	現在の登録内容	申請内容
携帯電話番号	a) 「現在の登録内容」欄 下記を参照	b) 「申請内容」欄 下記を参照
PCメールアドレス		
携帯メールアドレス		
変更理由	c) 「変更理由」欄…下記を参照	確定

保護者住所

項目名	現在の登録内容	申請内容
(保証人NO1)保護者氏名		
(保証人NO1)保護者氏名(カナ)		
(保証人NO1)保護者郵便番号	a) 「現在の登録内容」欄 下記を参照	b) 「申請内容」欄 下記を参照
(保証人NO1)保護者住所(都道府県市区町 村大字)		
(保証人NO1)保護者住所(丁目・字以下)		

a) 「現在の登録内容」には、大学であらかじめ登録した情報が表示されます。
※履修登録期間の都度、確認してください。

b) 修正内容は「申請内容」に入力してください。

※住所変更届、連絡先変更届、保護者住所のそれぞれを確認してください。

※携帯電話のメールアドレスを登録すると、大学からのメールが受信できます。

c) 変更理由を入力し、(確定) ボタンをクリックしてください。

変更理由は(変更)と入力してください。

※住所変更届、連絡先変更届、保護者住所は、それぞれ修正した項目毎に(確定)
ボタンをクリックしてください。



③履修登録画面で履修登録する授業コマの選択をクリックし、当該学期に履修するすべての授業科目を登録してください。

1 授業の選択 2 エラー確認 3 最終確認 4 完了

▶ 履修する授業を選択してください。◀

時間割表示 一覧表示

履修合計単位 0.0 チェック

2012年度 前期 | 後期へ 前期単位 0.0

	1時限	2時限	3時限	4時限	5時限
月	選択	選択	選択	選択	
火	選択	選択	選択	選択	選択
水	選択				
木	選択	選択			
金	選択	選択			

※登録する曜日・時限の選択をクリックするとその時限に行われる授業が表示されますので、登録する授業科目にチェックしてください。

※授業科目の名称をクリックするとシラバス（講義概要）が表示されます。

④履修登録を完了します。

履修する科目全てを選択し終えたらチェックボタンをクリックし、エラーがないか確認してください。

最終確認 4 完了

して下さい。◀

履修合計単位 20.0

チェック状況の確認 チェック

4時限	5時限
<input type="checkbox"/> 解剖生理学実習 I (2組) [] 1-6F 臨実室 1.0単位	
<input type="checkbox"/> 介護基礎 [] (傍 説) 1.0単位	<input type="checkbox"/> 道徳及び特別活動の研究 [] 1301号 室 2.0単位
<input type="checkbox"/> 調理学実習 I (基礎調理)	

※エラーの発生には、いくつかの原因があります。
例えば、同じ時間に重複して授業を登録している場合や年間の登録単位数の上限を超えて登録した場合が該当します。
エラーが解消されない場合は、教務課にお尋ねください。

授業の選択へ戻る

1 授業の選択 2 エラー確認 3 最終確認 4 完了

▶ エラーはありません。◀

履修合計単位 2.0 確定

一覧表示

※エラーがなければ、最終確認の画面になります。

確定ボタンをクリックし、履修登録を終了してください。

※確定ボタンを押した後でも、履修登録期間中であれば何度でも修正することができます。



(3) 受講上のマナー、試験、休講、欠席届など

①授業を受けるにあたっての注意事項

1) 受講マナーについて

- ・授業中は私語を慎み、静肅かつ真剣に受講してください。
- ・著しく受講態度が悪い学生は、受講が停止される場合があります。
- ・携帯電話・スマートフォンの使用を禁止します。
- ・授業中の飲食を禁止します。
- ・万が一、電車の遅延等で授業に遅刻した場合は、必ず授業担当者にその旨を報告の上、着席してください。
- ・授業中に無断で退出することを禁止します。

2) 教室内のマナーについて

- ・消し忘れの板書は消し、常に清潔な教室を心がけましょう。
- ・授業終了後は不要な照明や冷暖房のスイッチを切ってから退出しましょう。
- ・机、椅子を移動した場合は元の状態に戻してください。
- ・教室を利用して飲食をした場合は、ゴミは所定の場所に分別して捨てましょう。

3) 授業中に地震や火災が発生したら

授業中に大きな地震や火災が発生した場合は、非常放送が入ります。慌てずに放送内容をよく聞いて指示に従ってください。※40～42ページを参照してください。

②休講と補講

1) 授業の休講について

大学側あるいは授業担当者の都合でやむを得ず授業を休講する場合には、前もって掲示またはメールにて周知します。

事前の周知が無く、30分以上経過した場合には教務課までご連絡ください。

2) 授業の補講について

休講が出た科目については、別日に補講を実施することとなります。補講日・補講予備日を設けていますので、日にちを確認し、スケジュール管理を行ってください。

補講の実施は、休講同様、前もって掲示またはメールにて周知します。

3) 非常変災時の授業の取り扱いについて

気象庁から気象に関する警報が発表された場合、各種公共交通機関の障害等が発生した場合、地震等の自然災害が発生した場合、本学では授業の取扱いについて卷末のとおり定めています。非常変災時には、各自、状況を判断のうえ安全の確保に努めてください。



③欠席・遅刻について

1) 出席回数と定期試験

授業への出席が授業回数の3分の2に満たない場合、授業への出席回数不足で成績評価を受ける資格がないため試験を受けることができず、単位が修得できなくなります。

2) 欠席の取り扱いについて

本学では、病気欠席や忌引など「公欠」の制度はありません。欠席する場合は、大学（教務課）まで連絡を入れてください。登校できるようになってから、授業担当の先生に前回欠席の旨を伝え、教務課へ欠席届を提出してください。

＜九品寺キャンパス教務課＞ 電話番号 (096) 362-2011

＜武藏ヶ丘キャンパス教務課＞ 電話番号 (096) 338-8840

3) 遅刻について

授業開始後20分以内とし、それ以降の入室は欠席として取り扱います。なお「遅刻3回」は「欠席1回」に該当するものとします。

4) 長期の欠席について

長期にわたる欠席をする場合は、クラス担任及び授業担当教員と緊密な連絡をとり、その科目の履修と単位修得に関して遺漏のないようにしてください。

5) 学校感染症について

学校感染症に罹患した場合は、登校せずに速やかに大学（教務課）へ連絡してください。

登校できるようになったら、医師の診断書を添えて、出席停止に伴う未受講科目届を提出してください。

《学校保健安全法で定められた感染症に罹患した場合》

学校保健安全法で定められた第一種、第二種、第三種の感染症にかかった場合は出席を停止し、所定の手続きを行った場合は欠席扱いとはなりません。

《学校感染症として指定されているもの》

学校感染症第一種：

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎（ポリオ）、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（SARS）、鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）、中東呼吸器症候群（MERS）

学校感染症第二種：

インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1、H7N9）を除く）、百日咳、麻疹（はしか）、流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）、風疹（三日ばしか）、水痘（水ぼうそう）、咽頭結膜熱（プール熱）、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎

学校感染症第三種：

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症（O157など）、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、他の感染症（溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症、感染性胃腸炎など）

6) 手続きについて

各キャンパス事務部に用紙がありますので、必ず押印の上、教務課まで提出してください。

書き方など分からぬ場合は、教務課まで尋ねてください。

（捺印のない届けは受理できませんので、必ず印鑑を押して提出してください）

授業の出欠は
自分で管理を
しましょう！





④試験について

試験は原則として筆記試験を実施していますが、レポートやノート、作品提出、口述及び実験・実習・実技により評価されることもあります。

試験は大きく分けて、学期末の試験期間中に実施される「定期試験」と授業中に実施される「授業期間中の試験」に区分されます。

その他、補講や集中講義の中で行う試験等もありますので、授業担当者の指示に従って、受験するようにしてください

1) 受験資格

定期試験を受験できるのは、履修登録を行い、その授業に出席していた学生に限ります。授業の出席が授業回数の3分の2に満たない場合、授業の出席回数不足で成績評価を受ける資格がないため試験を受けることができません。また、学費未納の学生は、原則として受験資格がありません。(但し、授業料延期願を提出し、認められたものは除く。)

2) 定期試験について

定期試験とは、前期・後期それぞれの学期末の試験期間中に実施する試験を指します。定期試験時間割は掲示にて発表します。

3) 定期試験受験の注意点

①試験時間割の確認

- 定期試験時間割は、掲示板で試験時間、試験場等を必ず確認してください。
- 試験期間は通常の授業時間割と定期試験時間が異なります。また、教室も異なりますので、見誤りで受験できなくなることのないように十分注意してください。
- 試験時間割は、発表後に変更があるので、試験当日まで常に掲示に注意してください。
- 定期試験の時間割には授業科目ごとに対象クラスを記載していますが、自分のクラスが記載されていない場合は、速やかに教務課まで申し出てください。
(再履修者は特に注意してください。)

また、授業科目によっては、複数の教室で試験を実施することがありますが、必ず指定された教室で受験してください。

②学生証

受験する際は、必ず学生証を机上に提示してください。学生証がなければ受験することができません。学生証を忘れた場合は試験開始前に教務課で「定期試験受験票」の発行手続きをしてください。

③持ち込み物

- 受験の際は、「持込可」とされている科目を除き、教科書、ノート、辞書などは、すべてバッグの中にしまい椅子の下に置いて下さい。
- 試験開始前に必ず、携帯電話などの電源を切りバッグの中へしまってください。
また、時計のアラームは使用できません。
- コピーしたノートを持ち込めるのは、「ノート（コピー可）」の場合だけです。
- 試験場では、許可なく物品の貸し借りはできません。



④遅刻

試験開始後 20 分以内の遅刻であれば、受験可能です。ただし終了時間の延長はありません。

⑤その他

試験開始時刻を確認して 5 分前には教室に行き、受験の準備を始めてください。

4) 授業期間中の試験について

授業期間中の試験とは、授業中に実施される試験を指します。

授業期間中の試験についても、学期末試験に準ずる場合は、定期試験受験の際の注意事項を準用し、不正行為については、「試験に関する規程」を適用します。

5) 試験を欠席する場合

やむを得ない理由により試験を受けられない場合は、その理由を証明する書類を添付のうえ、試験実施前に届出こととなっています。

ただし、緊急な事故等のため、事前の届出が困難な場合は、当該事故発生後 1 週間以内に、その理由を証明する書類を添付して提出することができます。

6) 試験時に不正行為が発覚した場合

不正行為を行った学生は、「試験に関する規程」に基づき、次のとおり処罰されます。

尚絅大学・尚絅大学短期大学部における試験に関する規程（要点）

学期末試験のうち定期試験における不正行為については以下の処罰を行う。

- ① 当該学期の定期試験の全試験科目を無効とする。
- ② 不正行為を行った者は、学則の規定により懲戒することがある。

7) 追試験とは

病気その他やむを得ない理由により、定期試験を受けることができない者には、事情により追試験を認めることがあります。

追試験の受験を希望する者は、「追試験願」に必要な証明書と証紙（500 円 / 1 科目）を添付して各キャンパスの教務課に提出してください。

8) 再試験とは

定期試験において、合格点に達しなかった場合、授業担当者の判断により再試験を実施する場合があります。

- ①再試験は試験期間中の日程で発表します。
- ②再試験の受験手続は、該当する再試験前日の 17 時までに「再試験願」に証紙（2,000 円 / 1 科目）を添付して各キャンパスの教務課まで提出してください。
- ③再試験前日までに手続きが行われない場合、再試験を受験しないものと判断します。



⑤成績評価について

1) 成績の評価

成績評価は100点満点で採点し、60点以上を修得した場合にその科目の単位修得を認めます。学業成績通知書に表示する記号は次のとおりです。

評 点	評 値 内 容	成績表示	英字表示
100～90	基本的な目標を十分に達成し、優秀な成績を修めている	秀	S
89～80	基本的な目標を十分に達成している	優	A
79～70	基本的な目標を達成している	良	B
69～60	基本的な目標を最低限度達成している	可	C
単位認定	学修等について単位を修得したものとする	認	N
60未満	基本的な目標を達成していないので再履修が必要である	不可	F

2) 成績評価に疑問があるときは

履修科目の成績について質問や疑問がある場合は、直接、当該授業担当教員に面談するか、または質問・疑問内容を書面にして教務課へ提出してください。

なお、それでも解決できなかったときは異議申立てを受け付けることにしていて、教務課に相談してください。

※異議申立て制度とは、上の面談や書面提出を行っても質問や疑問を解決できなかつた場合に、申請を受け付け、教務委員会で審議し解決をめざす制度です。

3) G P Aについて

本学では、成績評価の指標としてG P A(Grade Point Average)を導入しています。

G P Aとは、学生が履修したすべての科目の成績評価を総履修登録単位数で除した数値です。G P A値は、毎学期始めのオリエンテーションで配付される成績通知書に記載されますが、成績証明書には記載されません。

$$G P A = \frac{(秀の合計単位数 \times 4) + (優の合計単位数 \times 3) + (良の合計単位数 \times 2) + (可の合計単位数 \times 1)}{\text{総 履 修 登 錄 单 位 数}}$$

⑥授業改善アンケートについて

本学では、授業をより良くするために、皆さんのが受講した科目についてアンケートを実施しています。授業を受けてみて「学修意欲が向上した点（よかったです）」や「学修意欲が低下した点（改善してほしいこと）」を、アンケートを通して先生に伝えましょう。

また、本アンケートは、皆さんの学びについての振り返りの機会でもあります。これまでの学修態度を振り返り、今後の取り組み方の改善に活かしていきましょう。



(4) 研究倫理について

①はじめに

尚絅大学・尚絅大学短期大学部では、研究活動の不正行為を事前に防止し、公正な研究活動を推進するために、研究倫理教育実施要領にもとづき、すべての学生に対して研究倫理教育を行っています。

②なぜ研究倫理教育なのか

昨今、「研究活動」の不正行為について多くの報道がされています。それらは、インターネットが普及したことにより、より簡単に誰でも広く多くの調査研究などに接することができるようになったことが理由の一つでもあると考えられます。研究倫理教育を通じて、正しい知識に基づく研究が行われるよう支援します。

③「研究活動」とは

「研究活動」は学生の皆さんにとっても非常に関係が深く大事なことです。大学での学びそのものが「研究活動」にあたります。例えば、授業ごとに課題として与えられるレポート作成や発表、実験・実習でのデータ収集分析、実習後の報告書作成、卒業研究など全てが「研究活動」に含まれます。

学生生活を過ごしていく上で、この「研究活動」の中で守らなければならないルールがあることを自覚してください。本学ではこれらの研究活動を、学生生活を始める最初に学び、学生生活をより実りのあるものにしてもらいたいと願っております。

④不正行為とは

【ねつ造】

存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

《事例》実験、調査、アンケートなどを実施せずに回答を勝手に作成したり、実際にやっていない実験データを勝手に作成し、レポート・論文に記載すること。

【改ざん】

研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

《事例》レポート・論文に掲載するデータ、グラフなどについて、証明しようとしている結論に無理に合わせるために変更したりすること。

【盗用】

他の研究者のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

《事例》書籍やWEBサイト等に掲載された他人の文章や資料等を出典を示さずにコピー&ペーストし、レポート・論文を作成すること。他人が作成した文章を自分が書いたもののように扱いレポート・論文を作成すること。



⑤研究活動における具体的な注意事項

【調査・実験などの依頼について】

調査の対象（相手側）に対して、調査・実験などの「目的」、「調査結果の利用」、「秘密の保持」など十分に説明をし、相手側との信頼関係をしっかりと築いてください。また、担当教員や関係者にも依頼方法などを事前に相談して、相手側に対して失礼の無いようにしてください。

【調査方法について】

聞き取り調査、調査票を用いた調査などが考えられますが、特に現地調査などでは、記録として現地での写真を保存することもありますが、写真などをレポートなどで使用する場合は、事前に本人の了解をとるように心がけてください。相手側も安心して調査に協力出来るように配慮することを忘れないようしてください。

【データの集計・分析について】

調査して入手したデータなどを、その後収集・分析を行うにあたり、データの集計ミスや、転記ミスに十分に注意をしてください。もしも、データ集計時にそういう不安などがあればすぐに担当教員や周りの人々に相談をするようにしてください。

【発表、資料の管理について】

収集したデータを利用しレポート作成をする場合、個人情報の取り扱いには十分に注意をしてください。また、調査の目的を達成した後のデータ管理がとても重要になります。不要な個人情報は必ず消去するようにし、必要最小限の情報を保管し、データの保存についてもパスワードをかけるなどの工夫をしてください。

詳しくは下記参考資料「科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得—」を通読してください。

《参考資料》

■研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン

(平成26年8月26日文部科学大臣決定)

■科学の健全な発展のために—誠実な科学者の心得— (日本学術振興会)

<https://www.jsps.go.jp/j-kousei/data/rinri.pdf>





2. 図書館

本館（九品寺キャンパス中高校2号館1階）

9:00～19:00（夏季・冬季・春季の各休業期間は、9:00～16:30）

分館（武蔵ヶ丘キャンパス大学5号館2階）

9:00～18:00（夏季・冬季・春季の各休業期間は、9:00～16:30）

本学の図書館は九品寺、武蔵ヶ丘の各キャンパスにそれぞれ設置され、大学・短大共有の施設です。合わせて約24万冊の資料を所蔵し、専門図書以外に資格・就職に関する図書、CD・DVDなどの視聴覚資料、新聞、雑誌等を取り揃えています。個人やグループで利用できるスペース、能動的な学修が可能なスペースがあり、学生、教職員の学修・研究支援の場、教職員との交流の場となっています。

図書館の利用について

本学学生であれば、いずれのキャンパスも利用が可能です。各図書館の利用方法等については職員にお尋ねください。

- 図書を借りる時は、必ずカウンターで所定の手続きを受けてください。また、借りた人が責任を持って返却してください。
- 図書を借りた時は、貸出期限を守りましょう。
- 館内での飲食は「飲み物」のみ許可しています。
- 館内では、資料等のカメラでの撮影は禁止しています。
- 資料への書き込み、切抜きまたはページの折り曲げはしないでください。
- 館内のコンセント等での充電は禁止しています。

その他、分からぬことなどがありましたら図書館の職員へお尋ねください。

～メモ～



3. 学修支援センター

本学では、学生の基礎学力の向上を目的として学修支援センターを設置しています。学生の皆さんのが、日頃、苦手としている科目や授業、勉強への不安や悩みを感じていることがありましたら、是非ご利用ください。

(1) 利用方法

予約は不要です。希望する科目の実施時間にあわせて学修支援センターを訪ねてください。それぞれの学力に応じた学修の支援を行います。

(2) 学修支援センターの場所

【九品寺キャンパス】 図書館グループ学習室

【武蔵ヶ丘キャンパス】 学修支援センター・スタディルーム（大学4号館2階）

(3) 支援内容について

①教科・科目

【九品寺キャンパス】 英語、数学、生物、化学	【武蔵ヶ丘キャンパス】 英語、中国語、韓国語、国語
------------------------	---------------------------

②レポート作成方法、日本語表現

③悩み相談

※履修登録期間は、教務課が履修相談、免許・資格取得に関する相談窓口を設けます。

(4) スケジュール

毎月のスケジュールを学内掲示板、図書館、本学ホームページに掲示しています。

～メモ～



4. 国際交流・留学案内

(1) 概要

本学では台湾・韓国・中国・マレーシアとの交換留学、短期語学留学を含む多彩な国際交流を展開しています。海外での経験や現地の人との交流を通し、語学力の向上はもちろん、国際社会でも通用するようなコミュニケーション能力の向上も目指せます。

(2) 国際交流の取り組み

①海外研修旅行（台湾、韓国、マレーシア、中国など）

- ・夏季休暇中、春季休暇中の5、6日間で、まずは海外体験をしてみましょう！
- ・海外協定校を訪問し、合同でのフィールドワークや報告会等を通じ交流を深めたり、歴史遺産を見学したりします。

②留学生との交流など

- ・本学に留学している交換留学生と行く日帰りバスツアー、県内大学合同の留学生交流イベントなど国際交流・異文化理解を深めるためのイベントを多数開催しています。

(3) 留学制度

①短期語学留学（台湾、韓国、マレーシア、中国など）

- ・各地で英語、中国語、韓国語の集中特訓！異文化体験のプログラムもあります。
- ・夏季休暇または春季休暇中に2週間から4週間程度の滞在です。学科によっては、単位も取得可能です。

②交換留学（台湾、韓国、マレーシア、中国など）

- ・大学（現代文化学部・生活科学部）の学生を対象とした半年～1年の交換留学を実施しています。単位互換の制度があるので、現代文化学部では4年間で卒業可能です。
- ・留学先大学の授業料は必要ありません。留学先の大学によっては寮費も免除されます。



(5) 海外協定校の紹介（協定締結順）

慈濟大学（台湾）2011年7月締結

慈濟大学は、1994年「慈濟医学院」として創設、2000年に慈濟大学と改称された、医学院、生命科学院、人社会学院を擁する総合大学である。風光明媚な観光地として知られる花蓮市に位置する。ボランティア活動が盛んな佛教系の大学でもあり、東日本大震災での学生たちの活躍は台湾国内でも高い評価を得ている。熊本地震の際にもいち早くボランティアに駆け付けた。



仁徳大学校（韓国）2014年9月締結

仁徳大学校は、1962年に仁徳芸術工科専門大学を経て、2012年に仁徳大学校となったキリスト教系の学校で、ソウル市北部に位置する都市型大学である。実務型教育を特徴とし、韓国文教部から4年連続で「教育力量強化有功大学」に選定されている。



高雄大学（台湾）2019年2月締結

高雄大学は学生数約5200人、2000年創設の新しい国立大学で、人文社会系（日本語専攻含む）、法学系、管理学系、理学系、工学系等を有す総合大学である。大学が位置する高雄市は熊本県・熊本市の姉妹都市であり、県内自治体、経済界の交流が盛んな地域である。



上海杉達学院（中国）2019年3月締結

上海杉達学院は学生数約1万人、上海市の浦東新区にある中国の私立大学である。1992年に創設された中国では比較的新しい大学である。文系を中心とした総合大学で、外国語系（日本語専攻含む）、観光・旅行系、経済系、マネジメント系、ファッション系など実学系の学科が多い。



Southern University College（マレーシア） (南方大学学院) 2019年3月締結

Southern University Collegeは学生数約2,600人、マレーシアの第二の都市ジョホールバルに位置する（シンガポールの対岸）私立大学である。1990年設立のSouthern College（南方学院）を経て、2012年Southern University Collegeに昇格している。現在、人文・社会系、商業管理学系、芸術・デザイン系、中国医学・薬学系等5学部を有す。マレーシア初の華人系の大学で、学生は中国系が多いが、中国文学以外の授業の多くは英語で行われている。





済州大学校（韓国）2020年4月締結（予定）

済州大学は、1951年済州大学を母体として創設され、1962年には国立大学となり、12の学部・59学科、9つの大学院を持つ総合大学である。さらに、2005年には国際交流本部が設置され、海外の大学などの学生交流プログラム（交換留学、International Summer School、短期韓国語韓国研修プログラム）を実施している。学生同士の交流活性化や外国人留学生の入学、韓国語コースの設置など外国人留学生をサポートも厚く、安心して留学することができる。



(6) 海外協定校との国際交流活動一覧

留学先	国・地域 言語	交換留学				短期語学留学（派遣）			研修旅行（派遣）		
		対象	人数	期間	費用	対象	期間	費用	対象	期間	費用
慈済大学	台湾 中国語	派遣 受け入れ	毎年2名 まで	半年 または1年	学費免除・ 寮費免除	全学生 (大学・短 期大学部)	4週間 春季休暇中	15万円程度 (参加費・渡航費込み)	全学生 (大学・短 期大学部)	6日間程度 夏季休暇中 (台湾・韓国 の隔年開催)	6万円 程度
			毎年3名 まで	半年 または1年							
	韓国 韓国語	受け入れ	毎年6名 まで (每学期3 名まで)	半年	学費免除						
			毎年2名 まで	半年 または1年	学費免除						
	高雄大学	台湾 中国語	受け入れ	毎年4名 まで (每学期2 名まで)	半年	学費免除 ・ 寮費免除					
上海杉達 学院	中国 中国語	派遣 受け入れ	毎年2名 まで	半年 または1年	学費免除 ・ 寮費免除	全学生 (大学・短 期大学部)	2週間 夏季休暇中 (予定)	15万円程度 (参加費・渡航費込み)	全学生 (大学・短 期大学部)	6日間程度 春季休暇中 (中国・マレーシ アの隔年開催)	6万円 程度
			毎年4名 まで (每学期2 名まで)	半年							
Southern Univ (南方大学 学院)	マレーシア 英語	派遣 受け入れ	毎年2名 まで	半年 または1年	学費免除	全学生 (大学・短 期大学部)	2週間 夏季休暇中 (予定)	20万円程度 (参加費・渡航費込み)	全学生 (大学・短 期大学部)	6日間程度 夏季休暇中 (台湾・韓国 の隔年開催)	10万円 程度
			毎年3名 まで	半年 または1年	学費免除						
済州大学校	韓国 韓国語	受け入れ									

※済州大学は2020年度に協定を締結する予定です。詳細については変更が生じる可能性があります。

※各大学について、諸般の事情で派遣・留学または受け入れについて延期・中止となる可能性があります。

（注）

- 説明会を開催しますので、希望者は必ず参加してください。ポスター等も掲示します。
- 期間、費用等は変動する可能性があります。
- 短期語学留学、交換留学については、本学独自の奨学金制度を活用できます。期間により2万円～10万円の支給があります。詳しくは担当窓口（各キャンパス教務課）まで。



5. 就職・進路支援センター

本学では、就職・進路支援センター（就職課）と各学科の教員が協力して、皆さんの希望の就職や進路が実現できるよう、バックアップします。

以下に記載する様々な取り組みを活用して、何でも遠慮なく相談してください。

(1) 主な取り組み

①各種採用試験・資格試験等に関する支援

学科に応じた、正課のキャリア教育や正課外の「就職指導」、学内企業研究会（企業説明会）などを実施しています。外部講師による有料講座「就職筆記試験・公務員試験対策講座」「日商簿記検定3級講座」も開講しています。

②進路相談、キャリアカウンセリング

自分を見つめなおし、目指す進路に前向きに動き出すきっかけをつくるための相談をキャリアカウンセラーや教職員と行います。

③就職指導（面接指導、マナー指導、履歴書・エントリーシートの添削など）

キャリア形成支援プログラムに沿って、「就職指導」の授業を学部・学科の特色を活かして行っています。

④就職セミナー・キャリアガイダンス等の開催

全学年を対象に年2回、春と夏に「キャリアガイダンス」を実施しています。

それぞれの学年において必要な「気づき」や「考え」、「行動」を身に付けることができる多彩なプログラムとなっています。

⑤インターンシップ（就業体験）に関する支援

就業体験を通して、業界を概観しながら企業理解・職業理解を深めるために、春と夏の2回、1年生から参加できるインターンシップを実施しています。

体験に基づいた職業観を早くから身につけることにより、明確な目標を持った就職活動が可能となります。

(2) 利用の仕方

①就職・進路相談

就職・進路に関するあらゆる相談に対応しています。気軽に相談してください。

②皆さんへの連絡

就職課から皆さんへの連絡や情報発信は掲示が原則です。就職課掲示板を見ることを習慣づけてください。

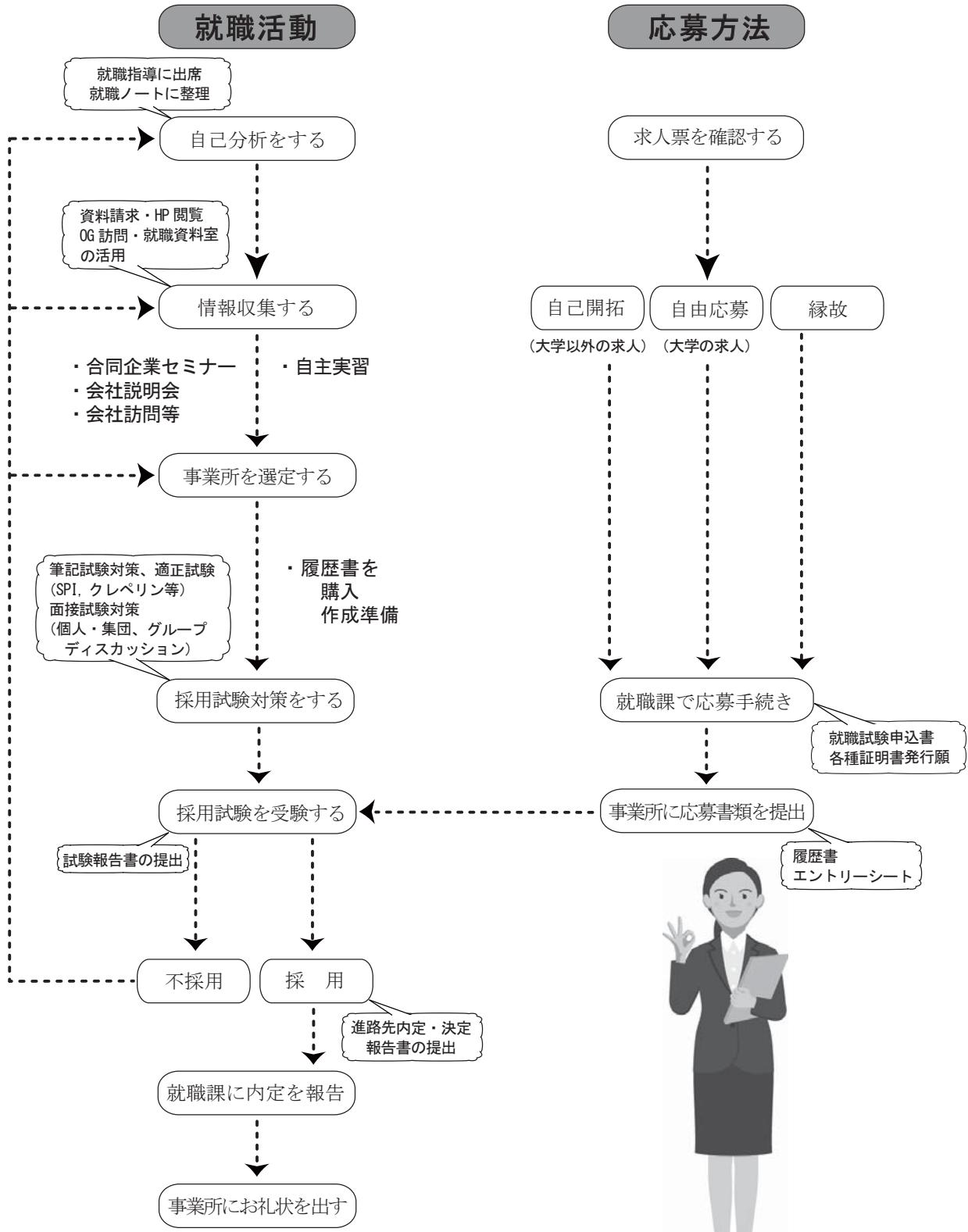
※メールや電話で連絡する場合もあります。大学からのメールは受信できるように設定し、必ず確認してください。また、電話に着信があった場合は、折り返し電話をかけるようにしましょう。

③就職資料室

就職活動では、就職情報をいかに効率よく「収集」「整理」「活用」するかが重要なポイントです。就職課には、求人票、就職試験問題集、就職に関する出版物、新聞など就職活動に必要な情報が、過去のデータから最新のものまで揃っています。また、先輩方の貴重な就職試験報告書（試験の内容や先輩からのメッセージ）も閲覧できます。是非こちらも活用してください。



(3) 就職活動の進め方 (就職活動の準備から応募、試験、内定までの流れ)



III. キャンパスライフの羅針盤

1. キャンパスライフの基本事項

(1) 事務窓口業務の案内

《受付時間》平日（月曜日～金曜日）8：40～18：10

※土日、祝日及び一斉休業期間中は、業務を行っていません。

※夏季・冬季・春季の各休業期間中は、8：30～16：30まで

事務窓口	主な担当業務	場 所
庶務会計課	<ul style="list-style-type: none">・納付金（学費納入関係）に関すること・式典（入学式、卒業式）に関すること・施設設備に関すること・公開講座等に関すること	<p>【九品寺キャンパス】 5号館 1階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 管理棟 1階</p>
教務課	<ul style="list-style-type: none">・履修（履修登録 履修指導）に関すること・授業・試験・成績・卒業、進級に関すること・各種証明書発行に関すること (在学証明書、卒業証明書、成績証明書など)・資格取得に関すること・退学、休学、復学 手続きに関すること・学修支援に関すること・留学に関すること	<p>【九品寺キャンパス】 5号館 1階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 管理棟 1階</p>
学生支援課	<ul style="list-style-type: none">・奨学金に関すること・学生会・サークルに関すること・傷害保険に関すること・遺失物・拾得物に関すること	<p>【九品寺キャンパス】 3号館 1階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 大学1号館 1階</p>
就職課	<ul style="list-style-type: none">・就職活動に関すること・進路相談、進路支援に関すること・インターンシップに関すること	<p>【九品寺キャンパス】 3号館 1階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 大学1号館 1階</p>
保健室	<ul style="list-style-type: none">・定期健康診断に関すること・健康相談に関すること・応急手当に関すること	<p>【九品寺キャンパス】 1号館 2階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 管理棟 1階</p>
カウンセラー室	<ul style="list-style-type: none">・カウンセリング・悩み相談 <p>※カウンセラー室の利用時間は保健室で確認してください。</p>	<p>【九品寺キャンパス】 1号館 2階</p> <p>【武藏ヶ丘キャンパス】 管理棟 2階</p>

問い合わせ先

九品寺キャンパス

武藏ヶ丘キャンパス

☎ 096 (362) 2011

☎ 096 (338) 8840



(2) 掲示板とオリエンテーション・ガイダンスについて

①学内掲示板を確認しよう

1日2回、登校時と下校時には必ず掲示板を見ましょう。

大学からの連絡、伝達事項はすべて掲示で通知します。したがって、掲示を見なかつたことを理由に責任を免れるものではなく、思わぬ不都合や不利益を被ることになります。

◇学内掲示板 場所

【九品寺キャンパス】

- ・4号館1階 学生ホール
- ・1号館2階 1201 教室前

【武蔵ヶ丘キャンパス】

- ・大 学 大学4号館東側通路
- ・短期大学部 大学2号館前 通 路

◇主な掲示内容

- ・講義の休講・補講
- ・講義室変更
- ・定期試験の結果
- ・学科からの連絡
- ・学生会関係の連絡
- ・学生呼び出し
- ・各種奨学金関係の連絡

※掲示板は、各課・各学科に分かれて掲示します。各自で必要な情報を収集してください。

②オリエンテーション・ガイダンスには必ず出席しよう

大学では、すべて自分自身の責任において行動しなければなりません。オリエンテーションやガイダンスは、履修や学生生活に関する資料を配付し、説明を行う大切な行事です。欠席すると履修や成績に関する大切な手続きが遅れたり、手続きができなくなってしまうこともありますので、必ず出席し担任または担当者の指導を受け、必要な事項を正しく判断できるようにしてください。

(3) ロッカーの利用・自転車通学等のルールについて

①学生ロッカーについて

在学中は、ロッカーを貸与します。ロッカーには鍵が付いておりませんので、各自で購入し、自己責任のもと使用してください。万一、ロッカー内のものが紛失した場合においても、大学は一切責任を負いません。

②自転車通学について

自転車通学を希望する学生は、所定の様式に従って学生支援課に届け出て、必ずステッカーを貼ってから指定の場所へ駐輪してください。また、運転に際しては次の点に注意して安全運転に努めてください。

- ・携帯電話を片手に運転しない。
- ・イヤホン、ヘッドホンを使用しながら運転しない。
- ・傘を差して運転しない。
- ・夜間はライトを点灯する。
- ・交通ルールを守り、交通マナーの向上に努める。



③自転車以外の車両の学内乗り入れについて

本学学生の自動車、原動機付自転車等のキャンパス内乗り入れはできません。

④学内での飲酒・喫煙について

本学内における飲酒及び喫煙は禁止します。

(4) 学生証・通学定期・学割証について

①学生証

学生証は、本学の学生であることを証明する大切なものです。常に携帯し、大学の教職員等から請求があったときは提示しなければなりません。なお、紛失した場合は教務課に届け、学生証再発行の手続きを行ってください。

《学生証が必要なとき》

- ・学内試験を受けるとき
- ・通学定期券を購入するとき
- ・図書館を利用するとき
- ・その他、提示を求められたとき



《記載内容の変更・有効期限の変更》

- ・氏名変更等で記載内容が変更となる場合は、教務課まで申し出てください。
- ・有効期間は、標準在学期間です。休学等により、有効期間が過ぎた場合は、教務課に返却し新しい学生証を受けてください。

《再発行の手続き》

- ・紛失した場合は、速やかに紛失届と共に再発行の手続きを行ってください。
- ・教務課にて「学生証再発行願」に記入の上、300円の証紙を貼付し、提出してください。

《返却》

- ・退学、その他学籍を離れるとき
- ・再交付を受けたとき
- ・有効期限を過ぎたとき

《仮学生証》

- ・定期試験などの学内試験当日に学生証を忘れた場合は、教務課にて仮学生証を発行します。
- ・仮学生証は、当日限り有効であり定期試験以外の目的では使用できません。

②通学定期券の購入について

本学の学生が通学を目的として、交通機関の定期券を購入する際にのみ、割引制度を受けることができます。定期券を購入する際は、以下のものが必要です。

- ・通学証明書（学生支援課で発行）
- ・学生証
- ・定期乗車券購入申込書（各交通機関定期券販売所で交付）

③通学証明書の発行について

通学証明書は、学生支援課で発行しています。申込方法は次のとおりです。

- 1) 学生支援課にて「通学証明書」に必要事項を記入。
- 2) 証紙券売機にて発行料金分の証紙（シール）を購入し「通学証明書」に貼る。
- 3) 学生支援課へ提出。

※交付は、申込日の翌日（土・日・祝を除く）午後です。



④学割証について

学割証（学校学生生徒旅客運賃割引証）は、JR各社の片道の乗車区間が100kmを超える場合、運賃が2割引になります。1枚で往復分購入できます。学割証で購入した乗車券を使用する場合は、必ず学生証を携帯してください。学割証の申込方法は、次のとおりです。

- ①学生支援課にて「学生旅客運賃割引証明書交付願」に必要事項を記入。
- ②証紙券売機にて発行料金分の証紙（シール）を購入し交付願に貼付。
- ③学生支援課へ提出。

※交付は、申込日の翌日（土・日・祝を除く）午後です。

なお、学割証は、修学上の経済的負担を軽減し、学校教育の振興に寄与することを目的としたものです。使用目的の範囲は、次のとおりです。

- ①休暇、所用による帰省
- ②正課の教育活動
- ③正課外の教育活動
- ④就職又は進学のための受験等
- ⑤見学又は行事への参加
- ⑥傷病の治療その他修学上支障となる問題の処理
- ⑦保護者の旅行への随行

詳しくは学生支援課にご相談ください。

(5) 学費の納入について

①納付期限

前期分…毎年4月25日までに納付（1年次のみ、前期分は入学前に納付）

後期分…毎年9月25日までに納付

※銀行休業日の場合は、翌営業日が納付期限となります。

注）所定の期日までに納付がない場合、学則の定めるところにより除籍となります。

②授業料等納付金の延納

天災地変その他不慮の災害、経済的理由、家庭の事情により納付期限までに学費等の納付が困難な方に対し、納付期限前に申請することで、延納を認めることがあります。

学費の延納を希望する場合は、所定の様式を庶務会計課の窓口に納付期限前までに提出してください。なお、前期提出した場合でも、後期に延納を希望する方は、改めて後期分を提出いただく必要がありますのでご承知おきください。

(6) 奨学金について

①日本学生支援機構等の奨学金について

修学上、経済的に困難な学生に対して、日本学生支援機構・各都道府県及び公私諸団体の奨学金の制度があります。経済援助および学業奨励のために奨学金制度がありますので、ご活用ください。

なお、外部団体からの各種奨学金に関する案内は、各キャンパスの掲示板に掲示しますので、確認してください。または、学生支援課へお尋ねください。

②本学独自の奨学金制度について

修学態度が標準に達していると認められる学生にあって、在学中に家庭の経済状況が急変（学資負担者の死亡等、被災など）し、授業料の納付が著しく困難であると認められる学生に対し、申請・審査を経て授業料を免除する制度があります。

【お問い合わせ先】各キャンパスの学生支援課にお尋ねください。



(7) 学内ワークスタディについて

学内ワークスタディとは、教育的な配慮のもとに、学内のさまざまな業務の補助に従事してもらうアルバイトのことです。

【応募資格】

- (1) 本学の学生であること。
- (2) 学資負担者の年間所得金額が次のいずれかであること。
 - ①給与所得者にあっては、源泉徴収の総支給額が841万円以下
 - ②給与所得者以外にあっては、確定申告の所得額が355万円以下

【問い合わせ先】学内ワークスタディに関することは、学生支援課にお問い合わせください。



(8) 休学・復学・退学等について

休学・復学・退学等の希望がある場合には、まずクラス担任へ相談してください。その後、本人・保護者・担任による面談を行います。手続きは、教務課にて届出様式を請求してください。(記載方法は各書式の請求時に説明します。)

①休学について

届出様式：休学願

納付金：半期（6ヶ月）の場合は2万円、1年間（12ヶ月）の場合は4万円

手続時期：前期からの休学を希望する場合は2月末まで、後期からの休学を希望する場合は8月末までに願い出てください。

※休学の始期は前期又は後期の開始日とします。学期途中からの休学は、基本的に認められません。但し、突発的な疾病・事故等により長期加療を必要とする場合は、医師の診断書を添えて願い出ることにより許可される場合があります。

※1年次前期の休学は認められません。

※休学期間は1年を超えることができません。

但し、特別な事情がある者には、更に1年内の休学を許可することができます。

※休学の期間は、次の通りです。

大学：通算4年以内を限度とします。

短大：通算2年以内を限度とします。

②復学について

届出様式：復学願

※復学始期は、前期又は後期の開始日となります。

※前期から復学を希望する場合は2月末まで、後期から復学を希望する場合は8月末までに願い出てください。

※疾病のために休学した場合は、復学の際にも医師の診断書が必要となります。

③退学について

届出様式：退学願

※前期末までに退学を希望する場合は8月末迄に、後期末までに退学を希望する場合は2月末迄に届出様式に必要事項を記入し申し出てください。



④除籍について

除籍とは、在学年限を超えた学生、休学期間を超えてなお修学（就学）できない学生及び授業料等を納付しない学生等に対し、学校が学則に基づき在籍関係の解除を事務的に行う措置をいいます。

次に該当する者は、除籍の措置をとります。

1) 正当な理由が無く、3ヵ月以上欠席した者

2) 在学期間を超えた者

　大学：8年　短大：4年

3) 休学の期間を超えて修学できない者

　大学：通算4年を超過する場合　短大：通算2年を超過する場合

4) 行方不明の届出のあった者

5) 正当な理由がなく、授業料やその他納付金の納付が無く督促を受けても納付しない者で、納付期限を4ヵ月経過した者

(9) 住所・氏名・保証人の変更について

引っ越しで住所が変わったり、婚姻等により氏名が変わったり、保証人が変更になった場合は、下記の方法で変更申請を行ってください。

①住所の変更

届出様式：住所変更届

届出方法：学生支援課にて住所変更届に記入し提出

※奨学金を利用している学生は、申し出てください。

②氏名の変更

届出様式：改姓（名）届

届出方法：教務課にて改姓（名）届に記入し、戸籍抄本を添えて提出してください。

③保証人の変更

届出様式：保証人変更届

届出方法：教務課にて保証人変更届に記入し、提出してください。

※保証人の変更の場合は、速やかに届け出してください。

(10) 学研災・学研賠について

本学の学生は、入学時に全員、学生教育研究災害傷害保険（学研災）、学研災付帯賠償責任保険（学研賠）に加入しています。

次の場合には、必ず学生支援課へお知らせください。

・登下校中に事故にあった、怪我をした、相手に怪我をさせた

・授業中、学校行事中、課外活動中、学外実習中に怪我をした、相手に怪我をさせた

・学校の物や実習先の機械を誤って壊してしまった

・その他、上記に準じる事柄



(11) 各種証明書の申請について

①証明書の種類

- ・在学証明書
- ・成績証明書
- ・卒業（修了）証明書
- ・卒業見込証明書
- ・単位修得証明書
- ・免許状取得見込証明書
- ・推薦書・紹介書
- ・健康診断証明書
- ・通学証明書
- ・学割証

②申込み方法

- 1) 事務室にて証明書発行願に必要事項を記入。
 - 2) 証紙券売機にて発行料金分の証紙（シール）を購入し発行願に貼る。
 - 3) 事務職員へ声を掛けてください。
- ※交付は、申込日の翌日（土・日・祝を除く）午後です。

③注意事項

- ◇就職活動等で必要な場合は、余裕を持って申込みを行ってください。
- ◇英文証明書等、特殊な証明書は、1週間程度の日数を要しますので、早めに申込みを行ってください。

(12) 学生寮について

本学には、遠く親元を離れて暮らす学生のために学生寮があります。共同生活を通して友情が深まり、先輩後輩間の仲も親密になります。寮での生活はかけがえのない思い出になるはずです。ドーミー熊本と如蘭学寮の2つの寮があります。寮費をはじめ寮則等がそれぞれ違いますので、寮に関するこをお聞きになりたい場合は、各キャンパスの学生支援課にお問い合わせください。



2. キャンパスライフをより充実させるために

(1) 学生会・尚絅祭について

本学では、学生相互の親睦を深め、より意義ある楽しい学生生活を送ることを目的とした学生自治組織として学生会があります。

学生会の主な行事は、毎年11月に開催される尚絅祭です。学生会行事は学生会役員や実行委員会によって企画運営されています。

(2) クラブ・同好会について

学生会に所属する各クラブ・同好会は次のとおりです。

なお、新たにクラブを作りたいという方は、学生支援課にご相談ください。

【九品寺キャンパス所属サークル】

クラブ：九品寺献血サークル、熊本名所情報発信サークル、食品研究サークル、和食文化サークル、尚短食ハピ

同好会：ダンス同好会、軽音同好会、バスケットボール同好会、ハンドメイド研究会

【武藏ヶ丘キャンパス所属サークル】

クラブ：SLC（サービスラーニングクラブ）、韓国語サークル、茶の湯同好会（部）、中国語研究クラブ、美術部（大学）、文芸部、ボランティアグループ「U」、軽音楽部、ダンスサークル、美術部（短大）

同好会：バレーボール同好会、創作同好会、bits!

（令和元年度実績）

(3) アルバイトについて

多くの大学生にとってアルバイトは学生生活の中で大きなウエイトを占めており、大学生でアルバイトの経験をする人がほとんどでしょう。

しかし、アルバイトに熱中するあまり学業をおろそかにしては意味がありません。

学業の負担にならないよう、よく考えてアルバイトをしましょう。

(4) 担任制について

本学では、クラス担任制を採用しています。

担任は、学生が充実した大学生活を送ることができるよう、勉学・生活面も含み種々の指導、助言を行ったり、相談を受けたりします。不安や悩み、問題が生じた場合は、クラス担任を訪ねてください。

クラス担任への相談例

- ◇学修相談
 - ・授業や履修について
 - ・免許、資格について
- ◇学籍に関すること
 - ・退学、休学、復学等
- ◇学費に関すること
- ◇その他
 - ・長期欠席する場合
 - ・就職関係に関する事など





(5) 保健室の利用について

本学では学生の健康的な生活のために、九品寺、武藏ヶ丘の各キャンパスにそれぞれ保健室とカウンセリング室を備えています。

①保健室の役割

- ・学内で発生した負傷、疾病に対応
- ・身体状況、精神状態に応じて、保健室で休養することができる
- ・救急に際しては、医療機関、家庭等に連絡
- ・年1回の定期健康診断
- ・悩みや相談への対応（健康に関する相談を含む）

②保健室の場所と開室時間

九品寺キャンパス 1号館2階

武藏ヶ丘キャンパス 管理棟1階

平日 8：30～17：30（土曜・日曜・祝日は除きます）

※休業期間中は開室時間が異なります。不在の場合は、学生支援課へご連絡ください。



*こんなときは、遠慮なく保健室を訪ねてください。

- ・ケガをしたとき
- ・具合が悪いとき
- ・心や身体の相談をしたいとき
- ・障がい等の相談をしたいとき
- ・自分の身体や健康のことが知りたいとき

(6) カウンセリング等の利用について

皆さんの個人的な問題及び障がいについて適切に対処するために、教職員が一体となって相談に応じています。個人的な悩みがある場合には、気軽に相談してください。

各キャンパスで、週に一度専門の女性カウンセラー（臨床心理士）によるカウンセリングも実施していますので、受けたいときは、事前に保健室で手続きを行ってください。



(7) スマートフォン・SNSを正しく利用しよう

①スマートフォンの利用について

スマートフォン（スマホ）の普及とともに社会問題となっているのが、歩きスマホによる事故が多発していることです。駅のホームから落ちたり、人やものとぶつかってケガをするだけでなく、他人を事故に巻き込んでしまうケースも増えています。

スマホユーザーの7割以上が、歩きスマホの経験ありといった調査データもあり、歩きスマホの問題は他人事ではありません。自分が歩きスマホの被害者・加害者にならないために、歩きスマホの危険性や対策について知っておいてほしいと思います。

◇事故件数はどれくらい？

東京消防庁の調べによると、東京都の管轄内で平成22年から平成26年までの5年間に、歩きながら、自転車に乗りながら携帯・スマホなどを操作していて起きた事故によって、152人が救急搬送されています。8割以上が軽症ですが、入院の必要がある中等症以上が30人いて、その中には命の危険に及ぶ重篤なケースもありました。

事故種別ごとでみると、「ぶつかる」が全体の約43%、次いで「ころぶ」が28.3%、「落ちる」が25.0%となっており、場所別でみると全体の8割以上が駅などの交通施設や道路で事故が発生しています。

◇実際に起こった事故例

スマホの画面に夢中になっていると視覚情報が鈍感になり、周りに注意が向かなくなります。歩きスマホが危ないことは科学的にも立証されており、普通に歩いているときであれば100%避けられる障害物でも、歩きスマホをしている状態では10～20%の人がぶつかってしまいます。

みなさんもながらスマホ・歩きスマホをしている人をよく見かけると思いますが、たとえば交差点の信号待ちをしながらスマホを操作していた人が、まだ信号が赤にもかかわらず突然横断を始めて驚いたという経験はありませんか？

スマホの画面に視界が奪われ、自分の目で車や信号を確認せずに周りの動きに合わせて移動していると、思わぬ事故に合う危険性があります。

また、自分だけではなく周囲の人を巻き込んでしまうケースや、加害者となって他人にケガを負わせ、損害賠償責任や刑事責任を課せられた事例もあります。

（実際の事例）

- ・自転車で走行中、スマホを操作しながら運転していて、高さ1mの道路脇の用水路に転落
(平成26年4月)
- ・携帯電話を扱いながら歩行中、ポールにつまずき転倒し、ブロック角で顔面を受傷
(平成26年4月)
- ・スマホを操作しながら歩いていた中学生がホームから転落。電車は転落場所を30メートルほど通過したが、中学生はホーム下の空間に避難し無事だった。(平成26年10月)
- ・女子大生がスマホを片手に電動自転車を運転し、77歳の女性に衝突して転倒させ、転倒した女性が死亡(平成29年12月)
- ・携帯電話を操作しながら歩いていた男性が踏切に進入し、電車にはねられて死亡
(平成25年10月)

②SNSの利用について

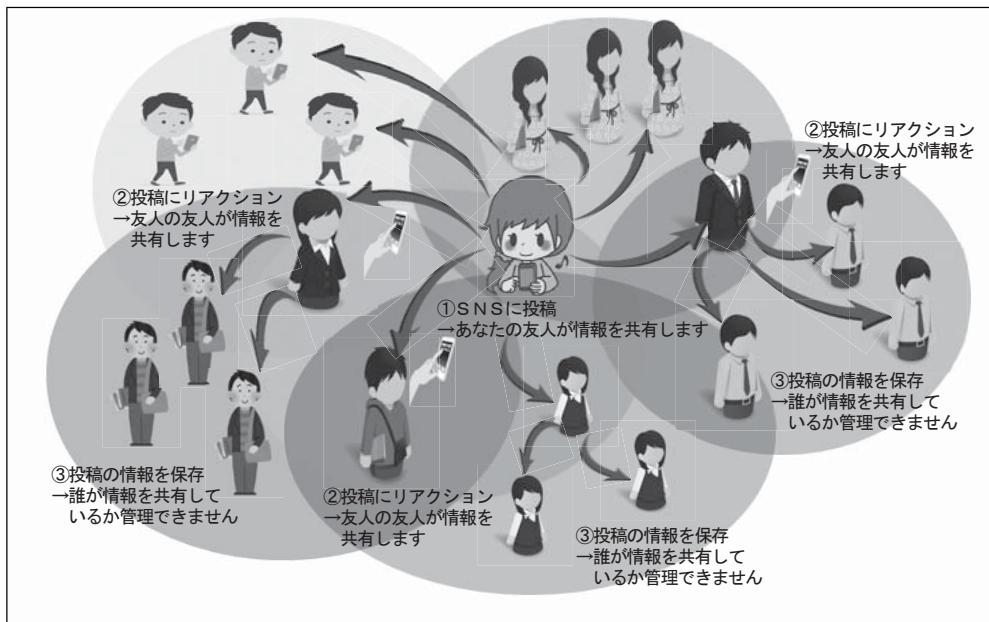
近年、情報技術の発達により、様々なコミュニケーション・ツールを使用して他者と連絡をとることが可能になりました。

特に大学生となり、これまでの人間関係と比較すると、飛躍的に他者との交流が増えています。そういう環境の中で、SNSの利用を誤った場合にトラブルに発展するケースも多々見受けられますので、十分注意してください。

ちょっとした悪ふざけのつもりで、他者の個人情報を公開したり、いたずらの写真を投稿したりすると、人間関係を壊すだけにとどまらず、訴訟に発展したり、投稿者が『加害者』として認識され攻撃の対象になる場合もあります。

また、SNSの情報は際限なく広がりますので、一度発信した情報は取り消しができないものと考えてください。

◇SNS情報の拡散イメージ



※本学では、「尚絅学園ソーシャルメディア利用のガイドライン」を定め、学生便覧に掲載していますので、しっかりと内容を確認してください。

(8) 困った時のSOS(セクハラ、アカハラなど)

精神的ないやがらせ（いじめ等）や性的なやがらせ（セクハラ）などについても、相談に関する秘密は厳守されますので、身近な教職員や相談員に安心して相談してください。問題解決に向けてのお手伝いをします。（相談員については、別途お知らせします。）

*セクシャル・ハラスメントとは？

相手が望まない性的な言葉の投げかけや接触、性的な噂を流すことなどで、早めの解決が必要です。被害にあったと感じたら、一人で悩まないで相談してください。

*アカデミック・ハラスメントとは？

大学の中で、人間関係や立場を利用して、相手に不快感や不利益を与える行為で、許されるべきものではありません。



3. 災害に備えて

(1) キャンパスで火災に遭遇したら

キャンパスで火災が発生した場合、素早く避難する必要があります。

しかし、ただ単に逃げれば良いというわけではありません。

火災が発生した場合は、最も自分の身を守れる方法で避難しましょう。

- ・正しい方法で避難しないと、建物から出られなくなります。
- ・火災による死因で最も多いのが、逃げ遅れたことによる火傷、次いで一酸化炭素中毒・窒息です。

①火災が発生した場合、できる限り早く避難しましょう。

初期の火災の場合、荷物をまとめたり、周りの人にあわせようと様子をみようとする人がいますが、できる限り早く避難しましょう。

②避難する際は、口をハンカチや服で抑えて、低い姿勢で避難しましょう。

火災が発生した場合、煙により、視界が悪くなったり、のどが痛くなったりします。

低い姿勢を保ち、口をハンカチ等で保護しながら避難してください。

③建物の階下に避難しましょう。

建物の高い場所にいる場合、階下に避難してください。

また、エレベーター等を使用せず、階段を使用してください。

④無事に避難できた場合、何があっても建物内に戻ってはいけません。

火災発生後に元の場所に戻ることは、大変危険です。絶対に戻らないでください。

⑤避難場所に集合しましょう。

火災や地震等の発生時に避難場所を定めています。雨天の場合は体育館等に変更する場合がありますので、校内アナウンスの指示に従ってください。

⑥避難訓練に参加してください。

本学では年1回避難訓練を実施しています。日頃から避難経路や避難場所の確認を行ってください。

(2) キャンパスで地震に遭遇したら

①大きな地震が発生したら…

大きな地震が起きたり、緊急地震速報があったら、まず自分の身を守る行動をしましょう。可能な限り、大きな家具や窓ガラスなどから離れてテーブルの下などに身を隠してください。慌ててガスコンロの火を消しに行く必要はありません。

外にいるときは、まわりの建物・看板やブロック塀、山の斜面などから離れましょう。震源から離れた地域でも、大きな地震で生じる「長周期地震動」により、高いビルの高層階では、長時間にわたって大きく揺れることがあります。高層階にいるときは、大きなキャビネットから離れるようにしましょう。

エレベーター内にいるときは、管制装置がついているエレベーターは、自動的に最寄りの階に停止しますが、装置がついていなければ停止しないので、全ての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。



万が一、エレベーター内に閉じ込められてしまったときは、慌てず、非常ボタンやインターホン等で連絡をとり、救助を待ちましょう。

②地震避難のタイミング

大きな揺れが収またら、周りの状況を確認します。建物に閉じ込められたり、怪我をしている人はいないか？室内や近所で火事は起きていないか？建物の被害状況（柱や壁のヒビなど）はどうか？近所で閉じ込められている人がいないか声を掛け合いましょう。

万が一、自分が閉じ込められた時は、あわてず、笛を鳴らしたり、近くにあるものを叩いて音を出して、存在を知らせましょう。キャンパスにいるときに大きな地震が起り、公共交通機関の運行が停止し、帰宅が困難になった場合は、駅やその周辺は多くの人が集まり、混乱等が発生することが予想されるため、「むやみに移動しない」ことが基本です。

大きな地震の後には余震が多く起き、最初の地震以上に揺れることもあります。

2016年の熊本地震でも2回目の地震の方が大きく、2011年の東日本大震災でも2日前に最大震度5弱の地震が起きた後にもっと大きな地震がきました。建物の被害状況（柱のヒビや傾き、壁のヒビ、家の基礎のズレなど）を見て少しでも不安を感じたら、すぐに建物から外に出て安全な場所に避難するようにしましょう。

また、海岸や海に近い大きな川の近くの人は津波の危険がありますので、すぐに高台に避難しましょう。

③避難する場所は？

避難する場所は、避難所や広く開けて落下物がない場所が適しています。災害の種類によって安全な避難所が異なる場合がありますので、事前に確認しておきましょう。

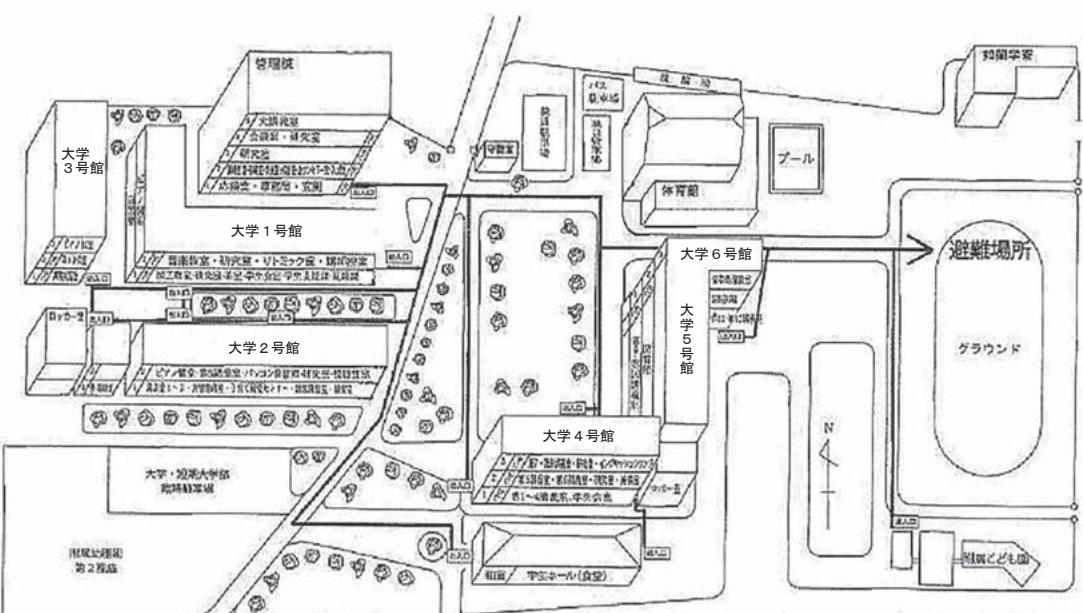
もし、避難所周辺で火災が延焼しているときや避難所も被害で危ないときは、広域避難場所（広い公園など）に避難します。

最寄りの広域避難場所も事前に確認しておきましょう。

④本学の避難経路と避難場所



武蔵ヶ丘キャンパスの避難場所及び避難経路



※ 学生は、避難場所と避難経路及び各建物の非常階段を確認してください。



IV. その他

メールの設定について

本学では、学生全員にメールアドレスを配付しています。

新入生には、入学時のオリエンテーション又は情報処理の初回授業時にアカウント・パスワード・メールアドレスを配付します。

ここでは、パソコンでのメールの使い方、スマートフォンでメールを受信する方法を記載します。

1. パソコンでのメール受信設定

(1) 初期起動設定

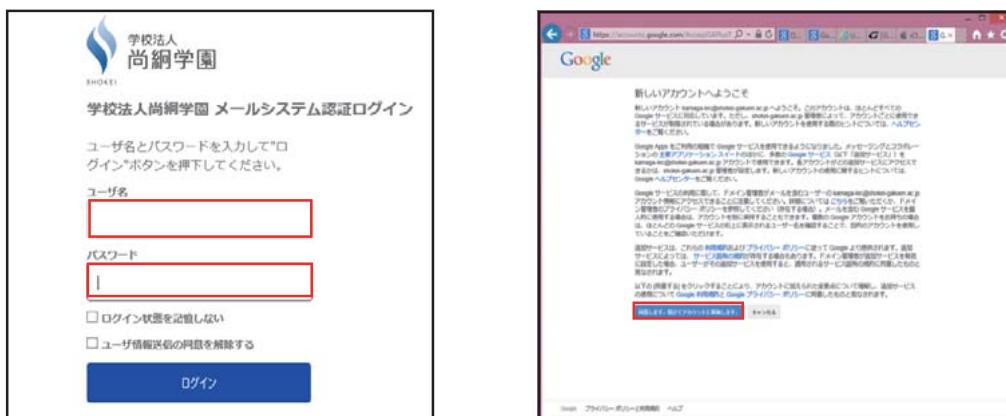
- ①情報処理教室のPCを起動し自分のユーザ名とパスワードを使用して、ログインする。
- ②Internet Explorerなどのブラウザを起動し、次のURLを入力する。

<http://mail.shokei-gakuen.ac.jp/>

(2) ログイン

ユーザ名に自分のユーザ名とパスワードを半角英数で入力し、[ログイン]ボタンを押すか、[Enter]キーを押す。

初回のみ「新しいアカウントへようこそ」という画面が表示される。

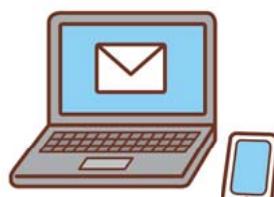


[同意します。続けてアカウントに移動します] をクリックすると、読み込んでいますとバーグラフが表示されたメール操作の画面が表示される。

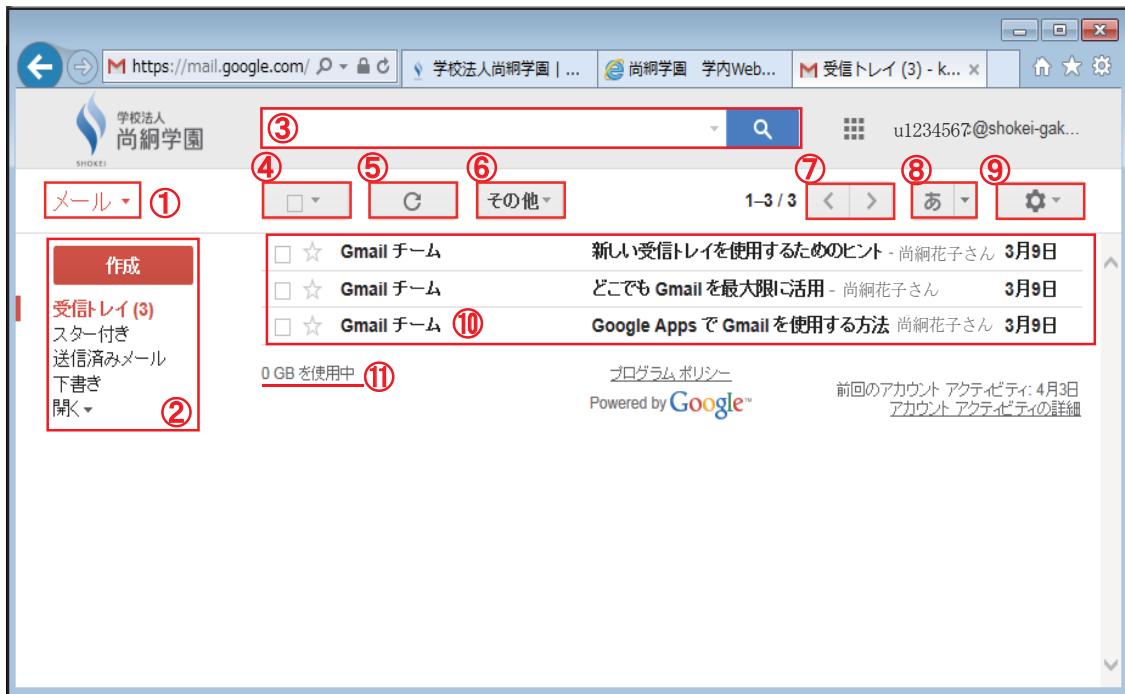
途中で、「パスワードを保存しますか?」と表示される場合があるが、不特定多数の人々が使用する公共のPCでは絶対にパスワードは保存しない。

(3) 設定の保存

最後までスクロールさせて、各種設定を保存するため [変更を保存] のボタンをクリックして設定を保存する。



(4) Web メールの画面構成



① トップメニュー

メーレル：メールの受信トレイを表示
連絡先：連絡先の画面を表示
ToDoリスト：ToDoリストの設定画面を表示

② サイドメニュー

作成：メールの作成画面が表示
受信トレイ：受信したメールの一覧
スター付：スターを付けたメールの一覧
送信済みメール：送信したメール一覧
下書き：作成中（未送信）メール一覧
開く：▼で迷惑メールなどが表示

③ 検索：検索欄へキーワードを入力し、 検索アイコンをクリックしてメールを検索できる。
▼で各種検索オプションを入力して検索フィルタリングを行う事ができる。

④ 選択：選択ボタンで全てのメールを選択や
▼で選択条件を設定できる。

⑤ 更新：更新ボタンで最新の情報に更新。

⑥ その他：他の設定が選択できる。

⑦ ページ移動：

[<] をクリックして前のページを表示
[>] をクリックして次のページを表示

⑧ 入力ツールオン／オフ：日本語入力などを設定する

⑨ 設定：各種設定を行う

⑩ メール一覧：電子メールの一覧が表示される。

⑪ 電子メール使用量

- ・メール使用量が 100%になるとメールを受信することができなくなるので不要なメールは削除する。
- ・メールボックスの最大容量は 25GB です。



2. スマートフォンでのメール受信

(1) iPhone でメールを受信する

- ①iPhone の場合は、AppStore から Gmail アプリをダウンロードします。



- ②大学から配布されたメールアドレスを入力し、「次へ」をタップしてください。



- ③尚絅大学の認証画面にユーザー名とパスワードを入力してください。(ユーザー名は@の前の部分です)



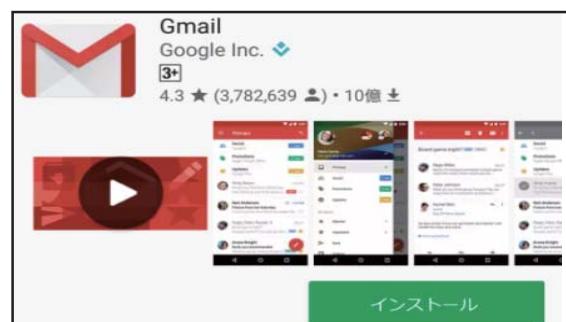
(2) Android 端末でメールを受信する

- ①「Play ストア」から Gmail アプリをダウンロードします。

※すでにアプリをインストールしている場合は、⑦へ進んでください。



- ②Gmail アプリを検索し、インストールしてください。



- ③ホームまたはアプリ一覧から Gmail のアイコンをタップし、起動します。



- ④左下のスキップをタップします。





⑥個人（IMAPまたはPOP）を選択し、『OK』をタップします。



⑦Gmailを利用中の方は、Gmailアプリを開き、「設定」をタップします。



⑧次に「アカウントを追加」をタップします。



⑨「その他」をタップします。



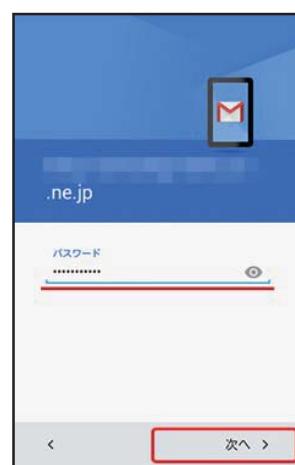
⑩メールアドレスを入力し、「次へ」をタップします。（配付されたアカウント情報を参照してください）



⑪「個人用（IMAP）」を選択し、「次へ」をタップします。



⑫メールパスワードを入力し、「次へ」をタップします。（配付されたアカウント情報を入力してください）





⑬サーバーに「imap.gmail.com」と入力し、「次へ」をタップします。



⑭smtp サーバーに「smtp.gmail.com」と入力し、「次へ」をタップします。



⑮アカウントのオプションは任意の項目です。特に何もなければ「次へ」をタップします。



⑨アカウントの設定は完了しました。
利用するには「次へ」をタップし、メールシステム認証ログイン画面に進んでください。



⑩メールシステム認証ログイン画面では、ユーザー名（メールアドレスの@の前の部分）とパスワードを入力し、ログインをタップしてください。





3. メールの転送設定（携帯電話で受信する場合）

メールの自動転送の設定を行うことで、shokei-gakuen.ac.jp宛に送付されたメールを携帯等の良く使用するメールアドレスへ自動的に転送することができます。

- (1) メールの転送を設定する場合は、①設定を選択し、②メール転送とPOP/IMAP、次に③[転送先アドレスを追加]ボタンをクリックする。



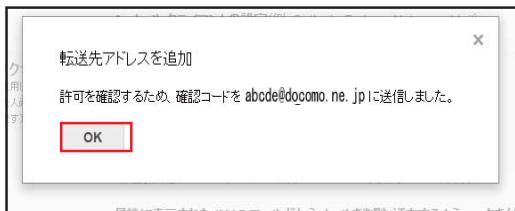
- (2) 転送先アドレスを追加の画面が表示されるので、転送先のメールアドレス（例えば携帯のメールアドレス）を入力し、[次へ]をクリックしてください。



- (3) セキュリティ上の理由から、転送先のメールアドレスに確認メールが送信されます。

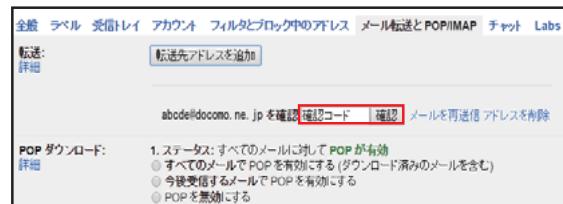


[続行] をクリックしメールを送信する。

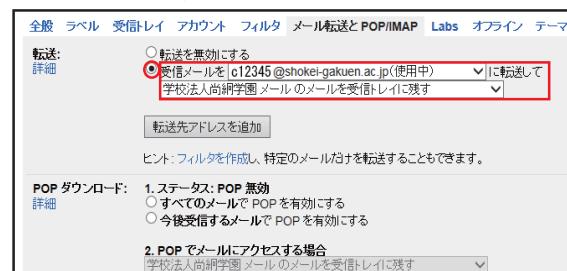


[OK] をクリックして、指定したメールアドレスへ届いたメールを参照する。

- (4) 「学校法人尚絅学園チーム」のメールを開き、確認コードを探し「確認コード」を入力し [確認] ボタンをクリックする。



- (5) 「受信メールをX Xに転送して」のラジオボタン を選択し「学校法人尚絅学園メールのメールを受信トレイに残す」を選択する。



※注意

転送がうまくできない場合は、このラジオボタンを押し忘れている場合が多いので必ず見直すこと。

- (6) 設定が完了したら、[変更を保存] ボタンをクリックして設定を保存する。
 (7) 確認の為に、必ず shokei-gakuen.ac.jp のメールアドレスへ送付して指定したメールアドレスへ転送されるのかを確認する。

◇自動転送を停止

- ①自動転送をやめたい場合は、上の5の画面で「転送を無効にする」を選択し、[変更を保存] をクリックする。

◇転送設定上の注意

次のようなメールアドレスには転送されない可能性がありますので、該当しないメールアドレスへ転送するかメールアドレスを変更してから設定してください。

- ・ドット(.)を2つ以上連続して使用
例)hanako..123@sample.ac.jp
- ・先頭にドットを指定しているアドレス
例).hanako@sample.ac.jp
- ・@の直前にドットを指定しているアドレス
例)hanako.@sample.ac.jp

現代文化学部カリキュラムマップ

分類		領域	ディプロマポリシー	カリキュラム ポリシー	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
全学共通開講科目					熊本学 日本伝統文化入門							
初年次教育					基礎セミナー スタディスキル							
日本語運用能力養成					日本語表現Ⅰ クリティカル・リーディング	-	日本語表現Ⅱ クリティカル・シンキング	-	簿記・会計Ⅰ キャリア形成入門	-	簿記・会計Ⅱ キャリアデザインⅡ	-
キャリア形成					キャリア形成入門	-	キャリアデザインⅠ 日本伝統文化Ⅰ	-	女性と社会 アドミニストレーション入門	-	女性と社会 アドミニストレーション入門	-
文化理解					国際日本学							
社会理解					経済と社会Ⅰ 政治と社会	-	経済と社会Ⅱ 法と社会	-	日本憲法 民法入門	-	日本憲法 民法入門	-
文学・歴史					日本文学史Ⅰ 東アジア近現代史	-	日本文学史Ⅱ 日本近現代史	-	原書で楽む絵本の世界 児童サービス論	-	原書で楽む絵本の世界 児童サービス論	-
心理学・教育					生涯学習概論 図書館概論		生涯効率心理学 図書館概論	-	生涯効率心理学 情報サービス論	-	生涯効率心理学 情報サービス論	-
現代文化学部 教養教育科目					基礎数学Ⅰ 社会問題法	-	基礎数学Ⅱ 課題探求プロジェクト入門	-	質的調査法 基礎統計Ⅰ	-	質的調査法 基礎統計Ⅱ	-
多文化コミュニケーション					情報処理Ⅰ コミュニケーション	-	情報処理Ⅱ コミュニケーション	-	情報サービス論 コミュニケーション	-	情報サービス論 コミュニケーション	-
					コミュニケーションワークⅠ Fundamentals of English I	-	コミュニケーションワークⅡ Fundamentals of English II	-	コミュニケーションワークⅢ Fundamentals of English III	-	コミュニケーションワークⅣ Fundamentals of English IV	-
					海外語学研修(英語) 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ	-	初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ	-	中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	-	中国語コミュニケーションⅢ 中国語コミュニケーションⅣ	-
					海外語学研修(中国語Ⅰ) 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ	-	海外語学研修(中国語Ⅱ) 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ	-	韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ	-	韓国語コミュニケーションⅢ 韓国語コミュニケーションⅣ	-
					海外語学研修(韓国語Ⅰ) 海外語学研修(朝鮮語Ⅰ)	-	海外語学研修(韓国語Ⅱ) 海外語学研修(朝鮮語Ⅱ)	-	海外語学研修(韓国語Ⅲ) 海外語学研修(朝鮮語Ⅲ)	-	海外語学研修(韓国語Ⅳ) 海外語学研修(朝鮮語Ⅳ)	-

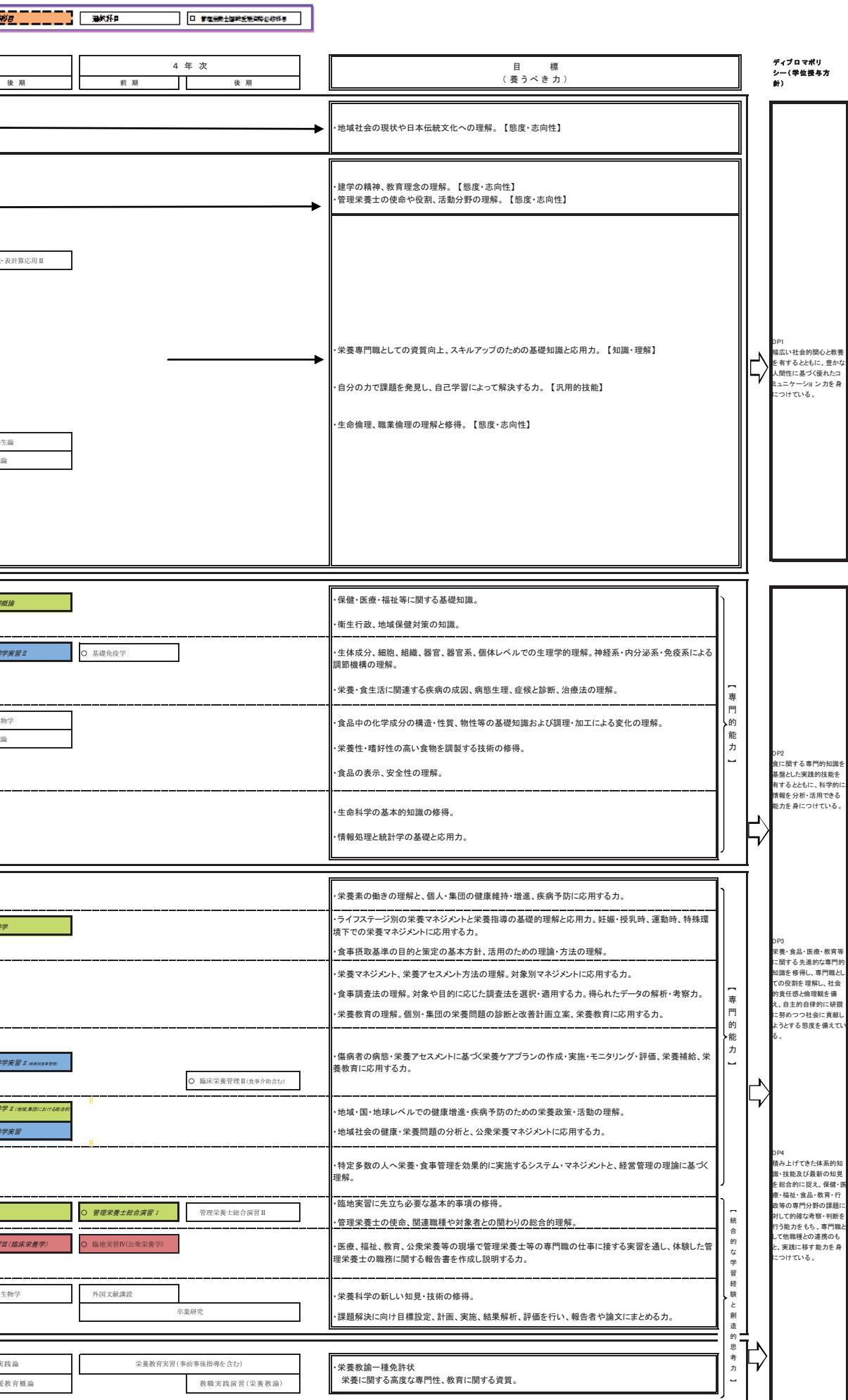
専門教育科目		必修科目	選択科目
日本語教育	日本語教育		
体育	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
専門導入科目	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
実践実践科目	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
実践実践科目	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
文化文化	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
情報メディア文化	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
日本・東アジア社会文化	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
観光文化	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講
演習・卒論	日本語教育	日本語文法	日本語文法受講

専門教育科目

生活科学部カリ

カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施方針)		授業科目区分		授業科目名																																																																						
		1年次		2年次																																																																						
		前期	後期	前期	後期																																																																					
<p>CPI 大学教育への円滑な導入を図る 初年次教育として、自主的思考力を 涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身 につけるための科目を配置します。</p> <p>CP2 幅広く深い教養を培い、豊かな情 操や高い倫理観を涵養するため に、教養教育科目を配置します。</p>	<p>全学共通開講科目</p> <table border="1"> <tr><td>熊本学</td><td>日本伝統文化入門</td></tr> </table> <p>学部学科開講科目</p> <table border="1"> <tr><td>教養基礎</td><td>基礎セミナー</td></tr> <tr><td></td><td>基礎数学</td></tr> <tr><td></td><td>日本語表現Ⅰ</td></tr> <tr><td></td><td>情報基礎</td></tr> <tr><td></td><td>文書処理入門</td></tr> <tr><td></td><td>英語ⅠA(基礎1)</td></tr> <tr><td></td><td>英語ⅠB(基礎2)</td></tr> <tr><td></td><td>英語ⅡA(応用1)</td></tr> <tr><td></td><td>英語ⅡB(応用2)</td></tr> <tr><td></td><td>中国語Ⅰ(会話1)</td></tr> <tr><td></td><td>中国語Ⅱ(会話2)</td></tr> <tr><td></td><td>海外語学研修(中国語)</td></tr> <tr><td></td><td>韓国語Ⅰ(会話1)</td></tr> <tr><td></td><td>韓国語Ⅱ(会話2)</td></tr> <tr><td></td><td>海外語学研修(韓国語)</td></tr> <tr><td></td><td>心理学</td></tr> <tr><td></td><td>女性と社会</td></tr> <tr><td></td><td>人権論</td></tr> <tr><td></td><td>倫理学</td></tr> <tr><td></td><td>日本憲法</td></tr> <tr><td></td><td>生涯学習概論</td></tr> <tr><td></td><td>グローバル・スタディ概論</td></tr> <tr><td></td><td>経済学</td></tr> <tr><td></td><td>化学入門</td></tr> <tr><td></td><td>体育Ⅰ(実技1)</td></tr> <tr><td></td><td>体育Ⅱ(実技2)</td></tr> </table>	熊本学	日本伝統文化入門	教養基礎	基礎セミナー		基礎数学		日本語表現Ⅰ		情報基礎		文書処理入門		英語ⅠA(基礎1)		英語ⅠB(基礎2)		英語ⅡA(応用1)		英語ⅡB(応用2)		中国語Ⅰ(会話1)		中国語Ⅱ(会話2)		海外語学研修(中国語)		韓国語Ⅰ(会話1)		韓国語Ⅱ(会話2)		海外語学研修(韓国語)		心理学		女性と社会		人権論		倫理学		日本憲法		生涯学習概論		グローバル・スタディ概論		経済学		化学入門		体育Ⅰ(実技1)		体育Ⅱ(実技2)	<p>授業科目名</p> <table border="1"> <tr><td>1年次</td><td>2年次</td><td>3年次</td></tr> <tr><td>前期</td><td>後期</td><td>前期</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>プレゼンテーション入門</td><td>文書処理・表計算応用1</td><td>文書処理</td></tr> <tr><td>生活発達心理学</td><td>臨床心理学</td><td></td></tr> <tr><td>芸術</td><td>現代社会ヒボンティア</td><td>多文化共生</td></tr> <tr><td>社会発達心理学</td><td>児童福祉</td><td></td></tr> </table>	1年次	2年次	3年次	前期	後期	前期	プレゼンテーション入門	文書処理・表計算応用1	文書処理	生活発達心理学	臨床心理学		芸術	現代社会ヒボンティア	多文化共生	社会発達心理学	児童福祉	
熊本学	日本伝統文化入門																																																																									
教養基礎	基礎セミナー																																																																									
	基礎数学																																																																									
	日本語表現Ⅰ																																																																									
	情報基礎																																																																									
	文書処理入門																																																																									
	英語ⅠA(基礎1)																																																																									
	英語ⅠB(基礎2)																																																																									
	英語ⅡA(応用1)																																																																									
	英語ⅡB(応用2)																																																																									
	中国語Ⅰ(会話1)																																																																									
	中国語Ⅱ(会話2)																																																																									
	海外語学研修(中国語)																																																																									
	韓国語Ⅰ(会話1)																																																																									
	韓国語Ⅱ(会話2)																																																																									
	海外語学研修(韓国語)																																																																									
	心理学																																																																									
	女性と社会																																																																									
	人権論																																																																									
	倫理学																																																																									
	日本憲法																																																																									
	生涯学習概論																																																																									
	グローバル・スタディ概論																																																																									
	経済学																																																																									
	化学入門																																																																									
	体育Ⅰ(実技1)																																																																									
	体育Ⅱ(実技2)																																																																									
1年次	2年次	3年次																																																																								
前期	後期	前期																																																																								
プレゼンテーション入門	文書処理・表計算応用1	文書処理																																																																								
生活発達心理学	臨床心理学																																																																									
芸術	現代社会ヒボンティア	多文化共生																																																																								
社会発達心理学	児童福祉																																																																									
<p>CPI 大学教育への円滑な導入を図る 初年次教育として、自主的思考力を 涵養し、汎用的技能と専門的知識の修得に必要な基礎学力を身 につけるための科目を配置します。</p>	<p>専門基礎分野</p> <table border="1"> <tr><td>社会・環境と健康</td><td>○ 公衆衛生学</td><td>○ 社会福祉概論</td><td>○ 健康管理</td></tr> <tr><td>人体の構造と機能及び 疾患の成り立ち</td><td>○ 生化学Ⅰ(概論)</td><td>○ 生化学実験</td><td>○ 生化学実習(微生物学実習含む)</td></tr> <tr><td>○ 開放生理学Ⅰ(人体の構造と機能)</td><td>○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)</td><td>○ 病理学</td><td>○ 解剖生理学Ⅱ(疾患の成り立ち)</td></tr> <tr><td>○ 調理学実習Ⅰ(基礎調理)</td><td>○ 調理学実習Ⅰ</td><td>○ 微生物学</td><td>○ 生化学Ⅱ(各種)</td></tr> <tr><td>○ 食べ物と健康</td><td>○ 食品学Ⅰ(概論)</td><td>○ 食品加工学</td><td>○ 食品微生物</td></tr> <tr><td>○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)</td><td>○ 食品加工実習</td><td>○ 食品加工工</td><td>○ 食品機能</td></tr> <tr><td>○ その他</td><td>○ 基礎生物学</td><td>○ 生命有機化学</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>○ 基礎化学</td><td>○ 食料経済</td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 数理統計概論</td><td></td></tr> </table>	社会・環境と健康	○ 公衆衛生学	○ 社会福祉概論	○ 健康管理	人体の構造と機能及び 疾患の成り立ち	○ 生化学Ⅰ(概論)	○ 生化学実験	○ 生化学実習(微生物学実習含む)	○ 開放生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 病理学	○ 解剖生理学Ⅱ(疾患の成り立ち)	○ 調理学実習Ⅰ(基礎調理)	○ 調理学実習Ⅰ	○ 微生物学	○ 生化学Ⅱ(各種)	○ 食べ物と健康	○ 食品学Ⅰ(概論)	○ 食品加工学	○ 食品微生物	○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)	○ 食品加工実習	○ 食品加工工	○ 食品機能	○ その他	○ 基礎生物学	○ 生命有機化学			○ 基礎化学	○ 食料経済				○ 数理統計概論		<table border="1"> <tr><td>○ 公衆衛生学</td><td>○ 社会福祉概論</td><td>○ 健康管理</td></tr> <tr><td>○ 生化学Ⅰ(概論)</td><td>○ 生化学実験</td><td>○ 生化学実習(微生物学実習含む)</td></tr> <tr><td>○ 生化学実習Ⅰ(基礎調理)</td><td>○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)</td><td>○ 病理学</td></tr> <tr><td>○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)</td><td>○ 調理学実習Ⅰ</td><td>○ 微生物学</td></tr> <tr><td>○ 食べ物と健康</td><td>○ 食品学Ⅰ(概論)</td><td>○ 生化学Ⅱ(各種)</td></tr> <tr><td>○ 調理学実習Ⅲ(給食調理)</td><td>○ 食品加工実習</td><td>○ 食品微生物</td></tr> <tr><td>○ その他</td><td>○ 基礎生物学</td><td>○ 生命有機化学</td></tr> <tr><td></td><td>○ 基礎化学</td><td>○ 食料経済</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 数理統計概論</td></tr> </table>	○ 公衆衛生学	○ 社会福祉概論	○ 健康管理	○ 生化学Ⅰ(概論)	○ 生化学実験	○ 生化学実習(微生物学実習含む)	○ 生化学実習Ⅰ(基礎調理)	○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 病理学	○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)	○ 調理学実習Ⅰ	○ 微生物学	○ 食べ物と健康	○ 食品学Ⅰ(概論)	○ 生化学Ⅱ(各種)	○ 調理学実習Ⅲ(給食調理)	○ 食品加工実習	○ 食品微生物	○ その他	○ 基礎生物学	○ 生命有機化学		○ 基礎化学	○ 食料経済			○ 数理統計概論									
社会・環境と健康	○ 公衆衛生学	○ 社会福祉概論	○ 健康管理																																																																							
人体の構造と機能及び 疾患の成り立ち	○ 生化学Ⅰ(概論)	○ 生化学実験	○ 生化学実習(微生物学実習含む)																																																																							
○ 開放生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 病理学	○ 解剖生理学Ⅱ(疾患の成り立ち)																																																																							
○ 調理学実習Ⅰ(基礎調理)	○ 調理学実習Ⅰ	○ 微生物学	○ 生化学Ⅱ(各種)																																																																							
○ 食べ物と健康	○ 食品学Ⅰ(概論)	○ 食品加工学	○ 食品微生物																																																																							
○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)	○ 食品加工実習	○ 食品加工工	○ 食品機能																																																																							
○ その他	○ 基礎生物学	○ 生命有機化学																																																																								
	○ 基礎化学	○ 食料経済																																																																								
		○ 数理統計概論																																																																								
○ 公衆衛生学	○ 社会福祉概論	○ 健康管理																																																																								
○ 生化学Ⅰ(概論)	○ 生化学実験	○ 生化学実習(微生物学実習含む)																																																																								
○ 生化学実習Ⅰ(基礎調理)	○ 解剖生理学Ⅰ(人体の構造と機能)	○ 病理学																																																																								
○ 調理学実習Ⅱ(応用調理)	○ 調理学実習Ⅰ	○ 微生物学																																																																								
○ 食べ物と健康	○ 食品学Ⅰ(概論)	○ 生化学Ⅱ(各種)																																																																								
○ 調理学実習Ⅲ(給食調理)	○ 食品加工実習	○ 食品微生物																																																																								
○ その他	○ 基礎生物学	○ 生命有機化学																																																																								
	○ 基礎化学	○ 食料経済																																																																								
		○ 数理統計概論																																																																								
<p>CP3 栄養士養成課程及び管理栄養士 養成課程として必要な科目を複数 とし、管理栄養士に必要な高度な 専門的知識・技能を育成するため に、専門教育科目・専門基礎分野 及び専門分野を段階的・系統的に に展開します。また、適切な態度、 倫理観、さらにそれを背景とした コミュニケーション能力を育成する ために、実習・演習・演習を体系 的に配置します。</p> <p>CP4 栄養士・管理栄養士としての創造 的思考力・判断力・社会性・協調 性を育成するために、専門的知識 と技能の統合的・実践的学修の場 として、「管理栄養士総合演習」 「臨地実習」「卒業研究」を配 せます。</p>	<p>専門分野</p> <table border="1"> <tr><td>基礎栄養学</td><td>○ 栄養学概論</td><td>○ 栄養学実習</td></tr> <tr><td>応用栄養学</td><td>○ 栄養学各論Ⅰ(小児・思春期)</td><td>○ 栄養学各論Ⅱ(成人から老年期)</td></tr> <tr><td>○ 栄養教育論</td><td>○ 栄養教導論</td><td>○ 栄養教導論実習</td></tr> <tr><td>臨床栄養学</td><td>○ 臨床栄養学概論</td><td>○ 栄養指導論</td></tr> <tr><td>公衆栄養学</td><td>○ 臨床栄養学各論</td><td>○ 栄養指導論実習</td></tr> <tr><td>給食経営 管理論</td><td>○ 給食管理</td><td>○ 給食経営管理論</td></tr> <tr><td>総合演習</td><td>○ 給食管理実習</td><td>○ 給食経営管理実習</td></tr> <tr><td>臨地実習</td><td>○ 総合演習Ⅰ(給食の運営)</td><td>○ 総合演習Ⅱ(給食経営管理論)</td></tr> <tr><td>○ その他</td><td>○ 食文化論</td><td>○ 人間関係論</td></tr> <tr><td></td><td>○ 食品バイオテクノロジー</td><td>○ 食品分析学</td></tr> </table>	基礎栄養学	○ 栄養学概論	○ 栄養学実習	応用栄養学	○ 栄養学各論Ⅰ(小児・思春期)	○ 栄養学各論Ⅱ(成人から老年期)	○ 栄養教育論	○ 栄養教導論	○ 栄養教導論実習	臨床栄養学	○ 臨床栄養学概論	○ 栄養指導論	公衆栄養学	○ 臨床栄養学各論	○ 栄養指導論実習	給食経営 管理論	○ 給食管理	○ 給食経営管理論	総合演習	○ 給食管理実習	○ 給食経営管理実習	臨地実習	○ 総合演習Ⅰ(給食の運営)	○ 総合演習Ⅱ(給食経営管理論)	○ その他	○ 食文化論	○ 人間関係論		○ 食品バイオテクノロジー	○ 食品分析学	<table border="1"> <tr><td>○ 運動栄養</td><td>○ 公衆栄養 概論</td><td>○ 公衆栄養 実習</td></tr> <tr><td>○ 実地実習Ⅰ(給食の運営)</td><td>○ 実地実習Ⅱ(給食経営管理論)</td><td>○ 公衆栄養 実習</td></tr> <tr><td>○ 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)</td><td>○ 臨地実習Ⅲ(給食の運営)</td><td>○ 臨地実習</td></tr> <tr><td>○ その他</td><td>○ 基礎分子生物学</td><td></td></tr> </table>	○ 運動栄養	○ 公衆栄養 概論	○ 公衆栄養 実習	○ 実地実習Ⅰ(給食の運営)	○ 実地実習Ⅱ(給食経営管理論)	○ 公衆栄養 実習	○ 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	○ 臨地実習Ⅲ(給食の運営)	○ 臨地実習	○ その他	○ 基礎分子生物学																															
基礎栄養学	○ 栄養学概論	○ 栄養学実習																																																																								
応用栄養学	○ 栄養学各論Ⅰ(小児・思春期)	○ 栄養学各論Ⅱ(成人から老年期)																																																																								
○ 栄養教育論	○ 栄養教導論	○ 栄養教導論実習																																																																								
臨床栄養学	○ 臨床栄養学概論	○ 栄養指導論																																																																								
公衆栄養学	○ 臨床栄養学各論	○ 栄養指導論実習																																																																								
給食経営 管理論	○ 給食管理	○ 給食経営管理論																																																																								
総合演習	○ 給食管理実習	○ 給食経営管理実習																																																																								
臨地実習	○ 総合演習Ⅰ(給食の運営)	○ 総合演習Ⅱ(給食経営管理論)																																																																								
○ その他	○ 食文化論	○ 人間関係論																																																																								
	○ 食品バイオテクノロジー	○ 食品分析学																																																																								
○ 運動栄養	○ 公衆栄養 概論	○ 公衆栄養 実習																																																																								
○ 実地実習Ⅰ(給食の運営)	○ 実地実習Ⅱ(給食経営管理論)	○ 公衆栄養 実習																																																																								
○ 臨地実習Ⅱ(給食経営管理論)	○ 臨地実習Ⅲ(給食の運営)	○ 臨地実習																																																																								
○ その他	○ 基礎分子生物学																																																																									
<p>CP6 食品衛生監視員(任用資格)、 食品衛生管理者(任用資格) その他の資格を取得するための 科目を配置します。</p>	<p>教職課程</p> <table border="1"> <tr><td>○ 栄養教諭</td><td>○ 教育原理(教職課程を含む)</td><td>○ 教職論</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 教育方法論(総合的な学習 の時間を作つ)</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 教育制度</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 教育心理学</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 教育相談</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>○ 特別支援</td></tr> </table>	○ 栄養教諭	○ 教育原理(教職課程を含む)	○ 教職論			○ 教育方法論(総合的な学習 の時間を作つ)			○ 教育制度			○ 教育心理学			○ 教育相談			○ 特別支援																																																							
○ 栄養教諭	○ 教育原理(教職課程を含む)	○ 教職論																																																																								
		○ 教育方法論(総合的な学習 の時間を作つ)																																																																								
		○ 教育制度																																																																								
		○ 教育心理学																																																																								
		○ 教育相談																																																																								
		○ 特別支援																																																																								

キュラムマップ



総合生活学科カリキュラムマップ

区分	学びの内容		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	枠組み	内容				
教養科目	教養科目	CP1 基礎的能力及び幅広い深い教養を身に付ける能力を身に付ける専門科目によりカリキュラムを編成します。	ベースク・イングリッシュ イングリッシュスピーキング カーネギーネート論 日本伝統文化入門	イングリッシュスピーキング ペシック・イングリッシュ 実用朝鮮語 熊本学 日本語表現	トライビューティー論 地域住民論 くらしと人権 健康スポーツ 日本語表現	DPI1 社会や自然に関する知識を体系的に理解するとともに、主体的な態度をもつて働きながら、問題性を持つ良い態度の「人間性」、「社会」「自然」と「生命」の3つの領域に取り組んでいます。
基礎	キャリア	CP3 基礎次に基礎的教養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。	女性と社会 インターネット 基礎セミナー 情報テラシー入門 I 情報テラシー入門 II 社会福祉 住生活学 衣生活学	キャリアサポート 社会保健論	キャリアサポート応用 生活経営論 食生活学	DPI2 生活、開運する情報、福祉・健康、アバレーリングの領域において専門的知識・実践的技術を身につけて、実生活に活かし役立てることができる。
医療事務・情報ビジネス	医療基盤A 医療基盤B	CP4 専門教育科目は、トライビューティー論を含め、ビジネス社会に必要な知識・技術についての授業科目は、医療事務等の必要な知識・技術を身につける「福祉」「ヘルス」「ビジネス」「コミュニケーション」「イノベーション」の3つの領域に分ります。これ3つの領域の専門知識を習得するとともに技術の身に付けるため、講義の他に演習や実習科目を配置します。	社会人必修ビジネス基礎 資格直結のPC実践技能 文書作成・表計算の技能 情報技術についての知識 病院・医療事務基礎	ビジネスナー ビジネスコミュニケーション企画力 簿記会計 情報テラシーア用 I 情報テラシーア用 II 医療事務総論	オフィスマスタディ(秘書概論) 文書処理応用 情報テラシーア用 I 情報テラシーア用 II 医療秘書業務	DPI3 自己の倫理観・職業観を確立し、現代社会の諸問題に対する主体的に考え、行動することができる。
福祉	福祉 ウェルネス	CP5 美兵力及び応用力を伸ばすために、「インタークリエーション」「卒業演習」「女性」「アバランチア美習」等の科目は会員がランティア美習等の科目を配置します。	福祉の基礎 福祉の実践 地域活動での他者理解 レクリエーション技法 よい良い生活のための心理的知識	保育学 介護概論 フィットネスダンス レクリエーション概論 ボランティア実習 対人コミュニケーション メンタルヘルス 死生学	福祉援助論 生活福祉論 介護技術 生活支援論 福祉専門職演習 健康科学	DPI4 各々の手法による情報活用能力を身につけ、様々な人とコミュニケーションを取りながら、自らの意見を適切に表現し、良好な人間関係を発展させることができる。
専門科目	生活デザイン アバランチ ファッションビジネス ブライダル フード	CP6 「ものの素材やデザインとそれとの関係」、「住まいに則する知識や住宅設備の基礎知識」、「アバランチの基礎知識」、「ファッションビジネスの基礎知識」、「ブライダルの基礎知識」、「生活に必要な食文化・技術」等の科目を配置します。	インテリア くらしと住居 アバランチ基礎 アバランチビジネス ブライダル フード	インテリアコーディネーター論 インテリアアレンジメント 「ものの素材やデザインとそれとの関係」、「住まいに則する知識や住宅設備の基礎知識」、「アバランチの基礎知識」、「ファッションビジネスの基礎知識」、「ブライダルの基礎知識」、「生活に必要な食文化・技術」等の科目を配置します。	空間表現演習 I 空間表現演習 II アバランチ演技論 アバランチ演技 I アバランチデザイン論 アバランチ入り門 フードプランニング実習 ポートフォリオ実習 食育これまで	DPI5 多様な立場の人々を理解するところがかかる、地域社会に貢献することができる。

食物栄養学科カリキュラムマップ

カリキュラムポリシー

CP1 基礎的能力及び幅広く深い教養を身に付ける教育科目と、専門の学芸を身に付ける専門教育科目によりカリキュラムを編成します。	CP2 教養教育科目は、大学教育を受けるために必要な学力と「社会人として求められる汎用的能力」を養うために、「教養基礎」「外國語」「人間と社会」「自然と生命の4領域」により編成します。教養科目の中で、学科での教育において特に重要な科目を必修科目とします。	CP3 初年次に基礎的素養を身に付けるための授業科目を置き、その上に専門的知識と技能を積み上げられるよう授業科目を系統的に配置します。	CP4 栄養士法施行規則に基づき、専門教育科目を「社会生活と健康」「人体の構造と機能」「食品と衛生」「栄養と健康」「栄養指導」「給食の運営」の6領域に区分します。さらに、質の高い栄養士の育成を目的として「その他関連項目」を配置します。	CP5 専門教育科目のうち、栄養学的専門知識とその理論を習得する上で必須と位置づけられる科目を必修科目とします。さらに、選択科目の中でも特に「栄養士業務を遂行する上で習得が必須となる科目を「栄養士免許必修科目」として設置します。栄養士免許必修科目は卒業要件とはならないが、栄養士免許取得には必須となる科目です。	CP6 専門教育科目の中に、栄養学の理論と知識を基礎とし、さらに栄養士としての実践的能力および技術を身に付けるための実験・実習科目を設置します。具体的な到達目標は、「食品・調理素材の特性や地域性を生かした献立作成能力と調理技術の修得」「疾病的予防と治療のための食事療法治の理解と実践能力の育成」「成長期の子どもから高齢者までのライフステージ別の特徴に応じた栄養管理の修得」および「大量調理における衛生管理や対象者の嗜好に配慮した給食の運営方法の修得」です。また、2年次には実践活動の場として3箇所（学校・保健所・事業所など）での校外実習を行います。これらの専門科目は学生の能動的学修の充実を図るものであり、同時にキャリア教育の一環としても位置づけます。
---	---	---	---	---	--

ディプロマポリシー

区分	1年次	前期	後期	前期	後期
教養科目		英語Ⅰ 生物学 化学 文学 熊本学 音楽 ◇社会学	基礎セミナー 日本語表現 情報処理Ⅰ 日本伝統文化入門 健康スポーツ 生涯スポーツ論	キャリア教育Ⅰ 英語Ⅱ 情報処理Ⅱ 人権教育 ◇経済学	キャリア教育Ⅱ △心理学 △健康科学
社会生活と環境				看護・介護概論 公衆衛生学 ◇社会福祉概論	※卒業必修科目には、資格取得に必要な科目も含まれます
人体構造と機能		生化学 生化学実験	解剖生理学Ⅰ 食品衛生学	解剖生理学実習 食品学Ⅱ ○□食品加工学実習	△心理学 △健康科学
食品と衛生		食品学Ⅰ ○□食品実験Ⅰ		○□食品衛生実習 ○□微生物学 ○□食品学Ⅲ	DP1. 文化・社会や自然・生命に関する広い知識を身につけています。 △製薬必修
栄養と健康				口運動栄養学 口臨床栄養学実習 △口栄養学各論実習	DP2. 食物、栄養および健康に関する深い専門的知識を身につけています。 △製薬選択
栄養の指導				△口栄養学各論 栄養指導論 栄養カウンセリング論 調理学 調理学実習Ⅰ	DP3. 食物、栄養および健康に関する諸問題に対して興味・関心を持ち、自ら分析・解決するための思考・判断力を身につけています。 △製薬選択
給食の運営				給食計画論 給食実務論 ○調理学実習Ⅱ	DP4. 食を通して人々の健康の増進・疾病の予防に貢献するための実践的技能を身につけています。 △製薬選択
その他関連項目		△製薬論			DP5. 多様化する社会の要求に柔軟に対応するための豊かな表現力とコミュニケーション力を身につけています。 △製薬選択
		育児学		卒業セミナー ○栄養士総合演習 △製薬実習	DP6. 知識を基にさまざまな思考様式や価値を理解し、知を高める主体的意欲・態度を身につけています。 △製薬選択

カリキュラム ポリシー(CP)

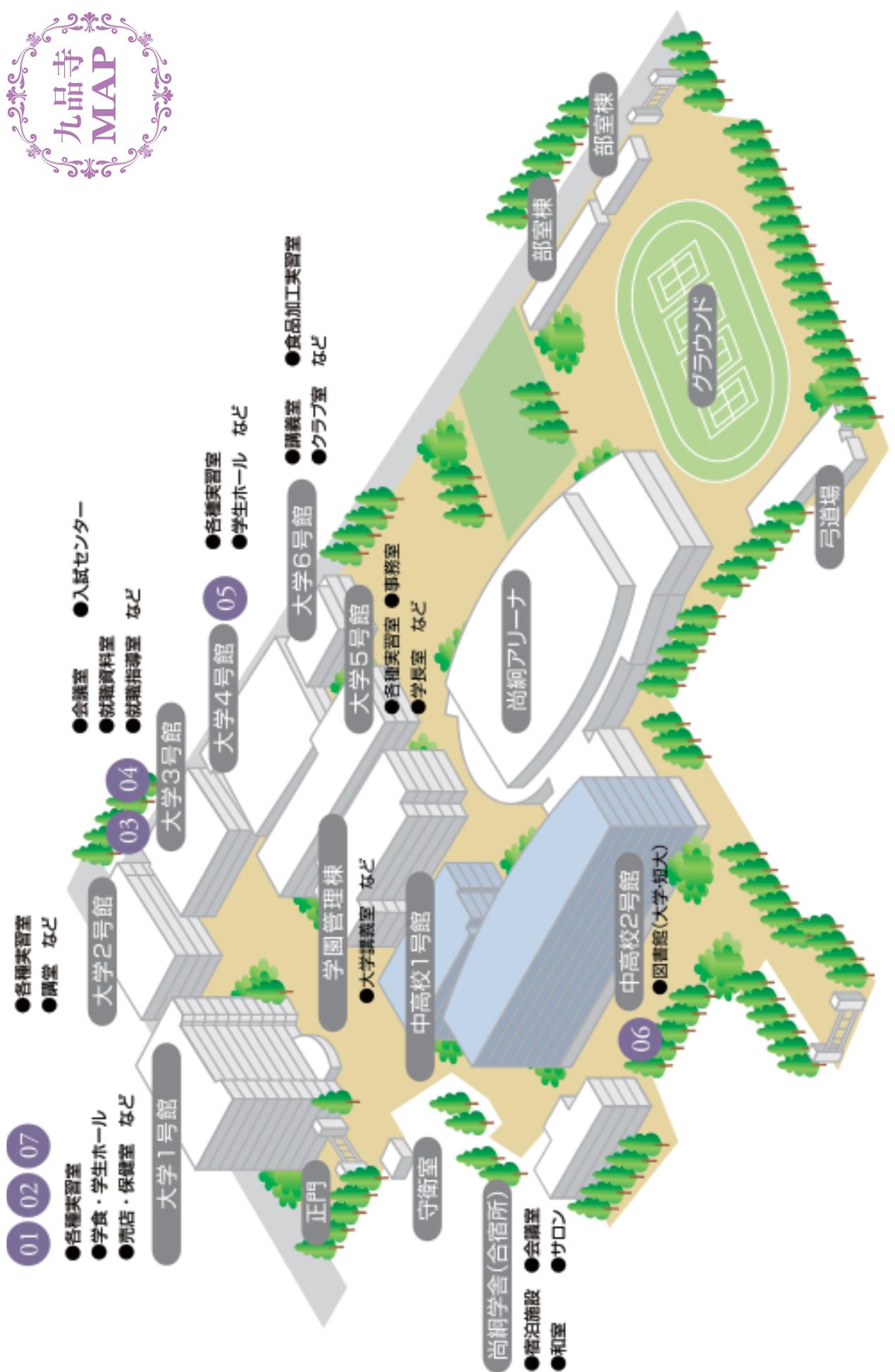
・実施方針

CP1 基礎的能力を身に付ける教科目として専門知識を身に付ける教科目になります。	保育課程編成	
	・実施方針	
CP2 教養科目は、大学教育を受けてから求められる「人間」と「社会」において「外國語」「人間と社会」の4領域により構成されています。	保育の原理 保育内容総論	保育原理 保育内容総論
CP3 初めての基礎的知識を身に付ける教科目では、「指導法」「表現法」「造形法」「音楽表現法」に分かれています。各々の特徴を理解して、各々の指導法を用いて授業を行います。	人間と社会 人間と環境	人間と社会 社会的養護
CP4 専門教育科目では、「指導法」「表現法」「造形法」「音楽表現法」に分かれています。各々の特徴を理解して、各々の指導法を用いて授業を行います。	人間と保健 人間と環境	乳児保育 幼児と言葉 幼児と環境
CP5 個人ある保育者を養うための各領域で必要な知識を身に付ける教科目です。各々の特徴を理解して、各々の指導法を用いて授業を行います。	人間と保健 人間と環境	乳児保育 幼児と人間関係 幼児と音楽表現 幼児と健康 子どもの保健
CP6 保護者としての実践と省察	基礎セミナー 情報処理 A 法学 (日本国憲法) 保健体育 体育実技 生命	基礎セミナー 情報処理 B 日本語表現 英語 外国語 英語 II
CP7 保護の世界や地域社会にかかわる態度と意欲が備わっている	全学共通講習科目 日本伝統文化入門 熊本学	人権教育 心理学 現代社会とボランティア 体育実技 II

幼稚園教育学科カリキュラムマップ

カリキュラム ポリシー(DP)	1 年前期		2 年前期		2 年後期	
	保育原理 保育内容総論	教育原理	教育課程論 教職・保育者論 教育方法論	教育・保育社会学	保育・教育に關する 基本的な理解ができる	保育・教育に關する 基本的な理解ができる
DP1 子ども家庭福祉 社会的養護	社会福祉	社会的養護	子育て支援 保育ソーシャルワークの理論	子ども家庭支援論 子育て支援 保育ソーシャルワークの理論	子どもの成長、発達、健康、保健、食などについて、生活や活動を発展・充実させるための総合的な理解ができる	子どもの成長、発達、健康、保健、食などについて、生活や活動を発展・充実させるための総合的な理解ができる
DP2 子どもの生活 と発達保障	乳児保育 幼児と言葉 幼児と環境	表現 II-はじめの一歩 A / 表現 III-音楽表現技術 D	表現 II-乳児保育 表現 IV-造形表現技術 A 表現 IV-造形表現技術 B	表現 II-身体表現技術 表現 II-音楽表現技術 B 表現 II-音楽表現技術 B 表現 IV-造形表現技術 B	子どもの表現遊び、生活・活動等を豊かにする保育・教育の実践的な技量が備わっている	子どもの表現遊び、生活・活動等を豊かにする保育・教育の実践的な技量が備わっている
DP3 子どもの保健	表現 II-はじめてのピアノ 表現 III-音楽表現技術 D	表現 II-環境の指導法 表現 II-言葉の指導法	表現 II-乳児保育 表現 IV-造形表現技術 A 表現 IV-造形表現技術 B	表現 II-身体表現技術 表現 II-音楽表現技術 B 表現 II-音楽表現技術 B 表現 IV-造形表現技術 B	保育方法実践演習 (音と遊び) 保育方法実践演習 (運動遊び)	保育方法実践演習 (音と遊び) 保育方法実践演習 (運動遊び)
DP4 子どもの心理 理解の	障害児保育 A 教育心理学	障害児保育 B 心理学	特別支援教育論 幼児の理解 (教育相談を含む)	表現 II-身体表現技術 表現 II-音楽表現技術 B 表現 II-音楽表現技術 B 表現 IV-造形表現技術 B	保育・教育の理論 (記録と幼児理解) 保育相談演習 (ころのケア) 子どもの理解と援助 子どもと環境	保育・教育の理論 (記録と幼児理解) 保育相談演習 (ころのケア) 子どもの理解と援助 子どもと環境
DP5 実践と省察	保育実習指導 IA	保育実習指導 IB	教育実習	保育実習 I 保育実習 II 保育実習 III	専門研究 I 専門研究 II 教育実習指導 II・III 教育実習	専門研究 I 専門研究 II 教育実習指導 II・III 教育実習
DP6 教社会としての	基礎セミナー 情報処理 A 法学 (日本国憲法) 保健体育 体育実技 生命	キャラクターデザイン 情報処理 B 日本語表現 英語 外国語 英語 II	トランジーニング 日本語表現 英語 外国語 英語 II	人権教育 心理学 現代社会とボランティア 体育実技 II	人権教育 心理学 現代社会とボランティア 体育実技 II	人権教育 心理学 現代社会とボランティア 体育実技 II
DP7 保護の世界や地域社会にかかわる態度と意欲が備わっている	全学共通講習科目 日本伝統文化入門 熊本学					

九品寺 MAP



武蔵ヶ丘 MAP



非常変災時における授業の取り扱いに関する申し合わせ

1. 目的

この申し合わせは、気象警報が発令された場合及び地震等の自然災害が発生した場合に、学生の安全を確保することを目的として、授業（試験を含む）の取扱いに関し、必要な事項を定める。

2. 休講措置

(1) この申し合わせで休講措置を実施する気象警報は、次のとおりとし、以下「特別警報等」とする。

- ・特別警報（暴風、大雨、暴風雪、大雪に限る）
- ・警報（暴風、暴風雪、大雪に限る）

(2) 九品寺キャンパスの場合は熊本市に、武蔵ヶ丘キャンパスの場合は熊本市または菊陽町に特別警報等が発令されている時間帯は当該キャンパスで実施される授業・試験を休講とする。なお、特別警報等が解除された場合は、以下のとおりの対応とする。

一斉休講とする授業时限の範囲	判断时刻
午前8時50分から正午までに実施される授業	午前6時20分時点
午後1時から午後4時20分までに開始される授業	午前10時30分時点

(3) 学長は、熊本市及び菊陽町に特別警報等が発令されることが予想される場合には、予防的に休講等の措置を講ずることができる。

(4) 学部長及び学科長は、授業開始後に特別警報等が発令された場合において、下校時の学生の安全面確保のためには、施設内に学生を留め置くことが適切であると判断したときは、(2) に関わらず授業を継続させることができる。この場合、当該学部長及び学科長は、速やかに学長に報告するものとする。

3. 各種公共交通機関の障害等が発生した場合の対応

熊本市内の公共交通機関の大規模な交通障害・ストライキ等が発生した場合は、その影響範囲を検討し、休講とすることがある。この場合の休講措置は、第2項（2）の取扱いを準用する。

4. 地震等の自然災害が発生した場合の対応

熊本県に地震等の大規模災害が発生した場合、学長は学部長及び学科長等と協議のうえ、休講の是非を決定する。

5. その他

上記以外の場合又は特別な事情がある場合は、学長は学部長及び学科長等と協議のうえ、休講の是非を決定する。

6. 補講の実施

この申し合わせにより休講となった授業については、補講を実施する。

7. 学外学修の場合

学外で実施する各種実習、インターンシップ等の場合は、実習先の指導者の指示に従うものとする。

8. 連絡体制

ウェブページ更新体制に基づき、各キャンパスの管轄ページ担当者は管轄ページ所属長の承認後、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部ウェブページのニュース&トピックスに「非常変災等における休講について：○月○日午前○時現在」を掲載し、学生及び教職員に周知する。

教務課担当者は、教務システムを通じて、「非常変災等における休講について：○月○日午前○時現在」を学生に配信するとともに、学内掲示板にて周知する。